

共通英語	通年 2 単位	1年
テーマ別のリーディング		
<p>【担当教員】</p> <p>井伊 順彦（いい のぶひこ）、石井 朋子（いしい ともこ）、磯崎 京子（いそざき きょうこ）、上原 美知子（うえはら みちこ）、江崎 聡子（えざき さとこ）、江連 和章（えづれ かずあき）、加賀屋 俊二（かがや しゅんじ）、木村 さなえ（きむら さなえ）、黒岩 裕（くろいわ ゆたか）、杉田 弘也（すぎた ひろや）、鶴見 典子（つるみ のりこ）、藤村 待子（ふじむら まちこ）、海琳 泰子（みたま やすこ）、矢部 寿美子（やべ すみこ）</p> <p>「共通英語」では、「女性の生き方」「人間」「社会と文化」「言語」「生命と自然」の5つの分野から、いずれか1つを選択します。授業の目的は大きく分けて2つあります。1つは上記の各分野に関する入門レベルのテキストを読んで、リーディングの力をつけることです。2つめの目的は、英文テキストの読解を通して、自己の考えを深め、各々の分野について基礎的な知識を身につけることにあります。つまり「共通英語」とは、「内容」を重視した「リーディング」の科目ということになります。「共通英語」の各分野の内容は下記の通りです。</p> <p>1) 女性の生き方 この分野では、女性学や女性論に関する文献、女性を描いた伝記・エッセイなどを読んで、女性の役割や生き方について考えます。</p> <p>2) 人間 この分野は、人間に関する理解を深めること、または人生について考えることを目的とします。人生論、哲学、思想、人類学、教育学、心理学などの分野から選ばれた文献を読んで、人間や人生について考えます。</p> <p>3) 社会と文化 この分野では、英語圏の国々や日本の歴史、政治、経済、地理などを紹介した文献、またはこれらの社会的・文化的な特質を論じた文献を読みます。日米、日英を比較した社会論や文化論もこの分野に含まれます。</p> <p>4) 言語 この分野は、言葉についての理解を深めることが目的です。言語の習得、言語のしくみ、言語の社会的な特徴、言語事情、言語の歴史、コミュニケーションの問題などを分かりやすく解説した文献を読みます。</p> <p>5) 生命と自然 この分野では、環境、医療、衣食住、性など、人の生命や健康にかかわる問題を扱った文献、または、自然科学の基礎的な知識を一般向けに分かりやすく紹介した文献を読みます。</p> <p>上記の5分野の授業についていくことに不安を感じる場合は、共通英語（基礎）のクラスを受講することもできます。共通英語（基礎）のクラスでは、英文法の基礎を学び、英文がどのように構成されているかを理解し、比較的平易な英文を読む能力を養います。</p> <p>【テキスト】</p>		

共通英語（女性の生き方）	通年 2 単位	1年
現代世界と女性の針路	井伊 順彦（いい のぶひこ）	
ねらい	現代では、女性自身の努力と男性の協力によって、女性に対する様々な制約が改善されつつある。本授業ではそうした変化をさらに進めるために、世界（主として日米欧）における女性の諸状況に関する教科書をていねいに読む。授業の趣旨に沿うリスニング練習も取り入れる。受講生の積極参加を期待する。	
授業計画	<p>【前期】</p> <p>第1回 授業内容の説明および印刷物を配布しての紹介授業</p> <p>第2回 前回配布した印刷物を用いての通常授業</p> <p>第3回 上記印刷物および教科書を用いての通常授業</p> <p>第4回 教科書を用いての通常授業</p> <p>第5回 同上</p> <p>第6回 同上（指定の主題によるレポートも指示する）</p> <p>第7回 同上</p> <p>第8回 同上（上記レポートの提出日）</p> <p>第9回 同上</p> <p>第10回 同上（機会を見て視覚教材も用いる場合あり）</p> <p>第11回 同上</p> <p>第12回 同上（補助用の印刷物を配布しての解説も含む）</p> <p>第13回 同上</p> <p>第14回 同上（リスニングの小テストも実施する）</p> <p>第15回 同上（上記リスニングテストを返却・解説する）</p>	<p>【後期】</p> <p>第1回 同上（前期のようすを見て取り組み方への助言もする）</p> <p>第2回 同上</p> <p>第3回 同上</p> <p>第4回 同上</p> <p>第5回 同上（補助用の印刷物を配布しての解説も含む）</p> <p>第6回 同上</p> <p>第7回 同上（補助用の印刷物を配布しての解説も含む）</p> <p>第8回 同上（機会を見て視覚教材も用いる場合あり）</p> <p>第9回 同上</p> <p>第10回 同上（指定の主題によるレポートも指示する）</p> <p>第11回 同上</p> <p>第12回 同上（上記レポートの提出日）</p> <p>第13回 同上（リスニングの小テストも実施する）</p> <p>第14回 同上（上記リスニングテストを返却・解説する）</p> <p>第15回 試験</p>
進め方	授業ごとに、前もって指名された4名程度の学生が、自分の担当箇所を読んで訳す。その際には発音も重視される。訳したのちに、まずレコーダによって同じ箇所の正確な発音を全員で確認し、ついで担当者が文法や内容に関する教師の質問に答える。	
テキスト	『21世紀の結婚・姓・社会』（成美堂）1900円（税別）	参考文献 おりにふれて教室で指示する。
評価方法	平常点:30% 小テスト:10% 試験:25% 貢献（教室で説明）:15% 出席:20%	

共通英語（女性の生き方）		通年 2 単位	1年
英語「女性の生き方」		磯崎 京子（いそざき きょうこ）	
ねらい	英語の読む、書く、聞く、話すのスキルを向上させながら、前期は女性の「自立」について、後期は女性の「国際性」について考えます。一年を通して、自分の生き方への考え方が深まっていくことを期待しています。		
授業計画	【前期】 第1回 オリエンテーションと「シンデレラ」観賞 第2回 シンデレラの生き方 第3回 自分のライフ・プラン 第4回 女性と仕事 第5回 結婚と仕事 第6回 育児と仕事 第7回 途上国の女性達 第8回 私達に出来ることは何か 第9回 働くお母さん 第10回 働くお母さんと社会システム 第11回 結婚相手 第12回 少子化問題 第13回 女性が働きやすい職場とは 第14回 自分にとって幸せな生き方とは 第15回 試験	【後期】 第1回 オリエンテーションと「世界地図」 第2回 2. Pros and Cons of Individualism 第3回 文化とは何か 第4回 個人主義と集団主義 第5回 両者の長所と短所 第6回 6. Looking at Two Different Language Worlds 第7回 言語と文化 第8回 アメリカ人のコミュニケーション・スタイル 第9回 日本人のコミュニケーション・スタイル 第10回 “Intercultural Conflict Style Model” 第11回 7. Treat Others as You Would Like to Be Treated 第12回 偏見、差別 第13回 人種主義、ステレオタイプ 第14回 世界が理解しあうには 第15回 試験	
進め方	ペアワーク、グループワークをしながら、意見を発表することが多い授業です。前期、後期共に期末テストの他にレポートの提出があります。		
テキスト	前期：毎週、プリントを配布します。 後期：テキスト“Bridging Cultures” by Toru Nishimoto, Kinseido.	参考文献	授業中に提示します。
評価方法	出席:30% レポート:20% 試験:50%		

共通英語（女性の生き方）		通年 2 単位	1年
世界の結婚・性・家族・社会		矢部 寿美子（やべ すみこ）	
ねらい	世界の様々な結婚形態、性の捉え方・役割の違い、家族の形の歴史を辿りながら、女性の民族的・文化的な違いを考え、現代社会における女性問題と今後の課題を探る。学生自身が英語で読むことに興味を持ち、自らが情報を積極的に収集し、英語で発信できる基礎を固める。		
授業計画	【前期】 第1回 Introduction 第2回 Chapter 1 Unit 1 ダイアナ妃の結婚 第3回 Unit 2 妻帯の牧師・神父 第4回 Unit 3 白人のキリスト教分派 第5回 Unit 4 東アジア、東南アジアの2つの仏教 第6回 Unit 5 イスラム女性たち 第7回 テスト 第8回 Chapter 2 Unit 1 カリフォルニアの同性婚 第9回 Unit 2 中国での少女婚約、交換婚 第10回 Unit 3 シングルマザーたち 第11回 Unit 4 欧米における同棲 第12回 Unit 5 離婚をどうみる？ 第13回 Chapter 3 Unit 1 姓・名の多様化・自由化へ 第14回 Unit 2 日本における夫婦別姓運動 第15回 テスト	【後期】 第1回 Unit 3 バリ島にある土俗的なルール 第2回 Chapter 4 Unit 1 白川村にて 第3回 Unit 2 核家族の変遷 第4回 Unit 3 今も生きている母系社会 第5回 Unit 4 中国の一人っ子政策 第6回 Unit 5 シンガポールでの政策 第7回 テスト 第8回 Chapter 5 Unit 1 アメリカでの妊娠中絶の賛否 第9回 Unit 2 日本におけるジェンダーの問題 第10回 Unit 3 いまだ残る女性蔑視 第11回 Unit 4 少子化社会への課題 第12回 Unit 5 国際結婚への難題 第13回 復習 第14回 関連映像・課題 第15回 テスト	
進め方	リーディングとその解説が中心となるが、毎回の授業で映像を使い、学生の理解を深める。授業の中で、学生が各自、コンピュータで関連情報を調べる時間をも設ける。毎回の授業のはじめに単語クイズを行う。		
テキスト	大橋久利、Blake Baxter. <i>The Changing Face of Marriage and Family</i> . 成美堂. 2008年. 1,900円（税別）	参考文献	
評価方法	単語クイズ:30% テスト:70%		

共通英語（人間）		通年 2 単位	1年	
英語読解を通して、人間理解を深める		上原 美知子（うへはら みちこ）		
ねらい	現代アメリカの異なる人種的、文化的背景を持つ作家達の作品を取り上げ、それらに込められた作家たちの人種偏見、愛国心、自己発見等に関わる人生観を深く読み取る事を目指します。英語学習面では、今までに学んだ語、文法、構文を基礎として、それらが様々な人々の文体の中で適宜使われている事を確認し、あやふやな理解に流れない様にしま			
授業計画	<p>【前期】</p> 第1回 授業方針、テキスト等説明。英語で自己紹介を書く。 第2回 Unit1:Sorrows. Lesson1 背景理解用（映像）資料 第3回 Lesson 1 本文 第4回 Lesson 2 背景理解用（映像）資料 第5回 Lesson 2 本文 第6回 Lesson 3 背景理解用（映像）資料 第7回 Lesson3 本文 第8回 中間テスト 第9回 Lesson 4 背景理解用（映像）資料 第10回 Lesson 4 本文 第11回 Unit 2:Memories. Lesson 5背景理解（映像）資料 第12回 Lesson5 本文 第13回 Lesson 6 背景理解用（映像）資料 第14回 Lesson 6 本文 第15回 試験	<p>【後期】</p> 第1回 後期授業説明。英語で休暇中の体験を書く。 第2回 Lesson 7 背景理解用（映像）資料 第3回 Lesson 7 本文 第4回 Unit.3: Ties. Lesson8背景理解用（映像）資料 第5回 Lesson8 本文 第6回 Lesson 9 背景理解用（映像）資料 第7回 Lesson 9 本文 第8回 中間テスト 第9回 Lesson 10 背景理解用（映像）資料 第10回 Lesson 10 本文 第11回 Unit 4: Lesson 11 背景理解用（映像）資料 第12回 Lesson 11 本文 第13回 Lesson 1 2 背景理解用（映像）資料 第14回 Lesson 12 本文 第15回 試験		
進め方	毎回担当者を決め、責任を持って進めて頂きますが、各自の予習を前提にしていますので、担当者以外も、毎回全員に当てます。皆さんの積極的、授業参加を希望いたします。テキスト、参考資料[ビデオ、映画、ニュース映像を含む]など多くの英語に触れ、様々な場面で使われる英語に親しみ、理解を深めます。			
テキスト	Refletions: Newbury House/SHOHAKUSHA	参考文献	その都度紹介します。	
評価方法	定期試験:40% 中間テスト:20% 提出物:20% 受講態度:10% 出席状況:10%			

共通英語（人間）		通年 2 単位	1年	
英文を読む楽しさを味わう		江連 和章（えづれ かずあき）		
ねらい	歴史に残る行動を起こした人々の切実な言葉を、彼（女）達自身の文書や手紙、演説を通して読みます。Readingの基本的方法を体系的に学ぶと共に、作品そのものを味わい、人間理解の一助とすることが目的です。			
授業計画	<p>【前期】</p> 第1回 授業の進め方、テキスト等の解説 第2回 Helen Keller (1) 第3回 Helen Keller (2) 第4回 Helen Keller (3) 第5回 Anne Frank (1) 第6回 Anne Frank (2) 第7回 Anne Frank (3) 第8回 新聞社説 (1) 第9回 新聞社説 (2) 第10回 Earvin "Magic" Johnson (1) 第11回 Earvin "Magic" Johnson (2) 第12回 Charles Chaplin (1) 第13回 Charles Chaplin (2) 第14回 前期のまとめ 第15回 定期試験	<p>【後期】</p> 第1回 G. Kingsley Ward (1) 第2回 G. Kingsley Ward (2) 第3回 G. Kingsley Ward (3) 第4回 Mother Teresa (1) 第5回 Mother Teresa (2) 第6回 Mother Teresa (3) 第7回 Margaret Mitchell (1) 第8回 Margaret Mitchell (2) 第9回 Margaret Mitchell (3) 第10回 Aung San Suu Kyi (1) 第11回 Aung San Suu Kyi (2) 第12回 雑誌記事 (1) 第13回 雑誌記事 (2) 第14回 後期のまとめ、全体のまとめ 第15回 定期試験		
進め方	演習を中心とした授業です。あらかじめ予習した内容について、まずは小グループに分かれ、その後全体での確認、議論、教員による説明等を行います。補足的に音声面や語彙強化の演習も取り入れます。受講生の積極的な授業参加を強く期待します。			
テキスト	英米文化学会・英語教育研究部会編『Words to Remember-Great Speeches, Letters and Diaries（心に残る言葉）』桐原書店	参考文献	授業中に紹介します	
評価方法	出席:25% 授業参加:15% 定期試験:60%			

共通英語（人間）		通年 2 単位	1年
共通英語（人間）：オーストラリアの先住民について		杉田 弘也（すぎた ひろや）	
ねらい	共通英語では、英語を学ぶことはもちろんですが、英語を手段として文献の内容への理解を深めることが重要です。この授業は、オーストラリアの先住民に関する英語の文献を読み、オーストラリアの先住民（主にアボリジナルの人々）への理解を深めるとともに、マイノリティーの置かれた立場や人種問題についてともに考えていくことを目的としています		
授業計画	【前期】 第1回 インTRODクダクシヨ 第2回 アボリジナルとは何か 第3回 アボリジナル民族 第4回 アボリジナルを定義する 第5回 アボリジナル人口 第6回 アボリジナルのドリーミング 第7回 アボリジナルと精霊 第8回 大地は神聖なもの 1 第9回 大地は神聖なもの 2 第10回 儀式 第11回 歌の役割 第12回 神聖な秘密の知識 第13回 アボリジナルとキリスト教 第14回 アボリジナルの土地の権利 1 第15回 アボリジナルの土地の権利 2	【後期】 第1回 アボリジナルと現代オーストラリア社会 1 第2回 アボリジナルと現代オーストラリア社会 2 第3回 アボリジナルと現代オーストラリア社会 3 第4回 アボリジナルと現代オーストラリア社会 4 第5回 アボリジナルと現代オーストラリア社会 5 第6回 ラッド首相のスピーチを読む 1 第7回 ラッド首相のスピーチを読む 2 第8回 ラッド首相のスピーチを読む 3 第9回 ラッド首相のスピーチを読む 4 第10回 ラッド首相のスピーチを読む 5 第11回 ラッド首相のスピーチを読む 6 第12回 ラッド首相のスピーチを読む 7 第13回 ラッド首相のスピーチを読む 8 第14回 ラッド首相のスピーチを読む 9 第15回 まとめ	
進め方	出席簿順に5～6名程度ずつ予習範囲を割り当てます。割り当てられた部分の訳を授業で発表できるよう準備してください。予習してきたものはその範囲終了後提出し、次の週に返却します。割り当てられた部分の提出は必須ですが、割り当てられた場所ではなくても自主的に予習して提出することを期待しています。		
テキスト	授業の都度配布します。	参考文献	
評価方法	予習:40% 予習の提出回数:20% 学年末レポート:40%		

共通英語（人間）		通年 2 単位	1年
A: 聖書の英語を学ぶ B: 生き方について考えながら英語力を伸ばす		鶴見 典子（つるみ のりこ）	
ねらい	授業の前半で、人類永遠の古典、万人の書としての『聖書』の重要な名言、名句を学び『聖書』に親しむ機会としたい。後半では、悩みが決して少なくない若者たちが、豊かな人間性を備え、真の美り多い人生を築き上げてほしいという願いをこめて書かれたテキストを使用して、生き方のヒントを学んでいきたい。		
授業計画	【前期】 第1回 A: In the Beginning B: Sharing Wisdom 第2回 A: Mary B: Growing Up 第3回 A: Glory B: Growing Up 第4回 A: My Beloved Son B: Growing Up 第5回 A: By Bread Alone B: Love 第6回 A: The Beatitudes B: Love 第7回 A: The Salt of the Earth B: Love 第8回 A: Love B: Communication 第9回 A: The Bird in the Sky B: Communication 第10回 A: The Lilies of the Field B: Communication 第11回 A: Ask B: the Future 第12回 A: Do to Others B: the Future 第13回 A: The Narrow Gate--- The Lost sheep B: the Future 第14回 A: The Parable of the Sower--- The Kingdom of God 第15回 定期試験	【後期】 第1回 A: The Man' s Ears B: Making Mistakes 第2回 A: The Kingdom of God B: Making Mistakes 第3回 A: The Widow' s Contribution B: Making Mistakes 第4回 A: Every Tree B: Change 第5回 A: The Good Samaritan B: Change 第6回 A: The One Who Humbles Himself B: Change 第7回 A: Jesus and Little Children B: Positive Attitude 第8回 A: A Woman Caught in Adultery B: Positive Attitude 第9回 A: The Lord' s Supper B: Positive Attitude 第10回 A: The Crucifixion B: Responsibility 第11回 A: The Death of Jesus B: Responsibility 第12回 A: To His Disciples B: Responsibility 第13回 A: From Matthew, John, Mark, and Luke 第14回 A: Other Famous Sayings, The Lord' s Prayer 第15回 定期試験	
進め方	『聖書』については、予め分担を決めておくので、良い発表ができるよう、しっかり資料を整えて授業に臨むこと。『自分の生き方を考える』のテキストは、各自毎回きちんと予習をしてくること。訳の筆記に時間を費やすことのないよう、分からない箇所は、事前に明らかにしておき、授業中に確認して頂きたい。		
テキスト	A: Biblical Citations（南雲堂） B: Lessons on Life（金星堂）	参考文献	
評価方法	定期試験:60% 提出物、発表、出席:40%		

共通英語（社会と文化）		通年 2 単位	1年
英語で世界の「今」に触れる		江崎 聡子（えざき さとこ）	
ねらい	ファストフードのヘルシーメニュー、ファッションアイコン、女性の社会進出と結婚観の変化、英語圏での携帯メール、ネット社会とテロリズム、日本の7パールの欧米進出、欧米における日本の伝統文化など、欧米文化の「今」について書かれた多彩な英文テキスト(主に新聞、雑誌記事)に触れることによって、英語圏文化についての理解を深めると同時に、正確で要点をおさえた英文読解能力の向上を		
授業計画	【前期】 第1回 ガイダンス 第2回 Topic 1-1 第3回 Topic 1-2 第4回 Topic 3-1 第5回 Topic 3-2 第6回 Topic 4-1 第7回 Topic 4-2 第8回 Topic 7-1 第9回 Topic 7-2 第10回 Topic 13-1 第11回 Topic 13-2 第12回 Topic 14-1 第13回 Topic 14-2 第14回 予備日 第15回 期末試験	【後期】 第1回 ガイダンス（前期期末試験の返却と復習） 第2回 Topic 15-1 第3回 Topic 15-2 第4回 Topic 19-1 第5回 Topic 19-2 第6回 Topic 22(1)-1 第7回 Topic 22(1)-2 第8回 Topic 22(2)-1 第9回 Topic 22(2)-2 第10回 Topic 10-1 第11回 Topic 10-2 第12回 Topic 26-1 第13回 Topic 26-2 第14回 予備日 第15回 期末試験	
進め方	基本的には講読の授業形態をとり、受講者のみなさんに和訳をしていただく。ペースとしては、数回の授業で一章を読みきる予定である。章末の練習問題や、内容確認プリントも含め、十分な予習が授業参加の前提となる。		
テキスト	Global View（朝日出版社、2007年） 夏目博明他編著	参考文献	授業中に適宜紹介する。
評価方法	試験:60% 出席:15% 授業態度:25%		

共通英語（社会と文化）		通年 2 単位	1年
多面的視点の養成		加賀屋 俊二（かがや しゅんじ）	
ねらい	現代の多様化した社会で一つの問題が全ての人にとって同じ価値であるはずがない。生じた問題は多面的であるはずだ。だからある人にとって賛成である事柄が他の人にとって反対である場合が少なくない。個人や国家の利害、宗教問題、民族問題、人種問題の入り混じった現代社会は複雑怪奇だからである。この授業では物事の見方考え方を養成す		
授業計画	【前期】 第1回 ガイダンス（授業の方法と学習の仕方etc.） 第2回 ADHD (1) 第3回 ADHD (2) 【翌週レポート提出】 第4回 Slavery (1) 第5回 Slavery (2) 【翌週レポート提出】 第6回 Nuclear Power (1) 第7回 Nuclear Power (2) 【翌週レポート提出】 第8回 Mold (1) 第9回 Mold (2) 第10回 Macrobiotics (1) 第11回 Macrobiotics (2) 第12回 Living Will (1) 第13回 Living Will (2) 【翌週レポート提出】 第14回 Green Technology (1) 第15回 Green Technology (2)	【後期】 第1回 夏休みの生活について、一人5分、英語で発表する。(1) 第2回 夏休みの生活について、一人5分、英語で発表する。(2) 第3回 Genetically Modified Food (1) 第4回 Genetically Modified Food (2) 【翌週レポート提出】 第5回 Gated Communities (1) 第6回 Gated Communities (2) 第7回 Garbage (1) 第8回 Garbage (2) 【翌週レポート提出】 第9回 IQ/EQ (1) 第10回 IQ/EQ (2) 第11回 Chocolate (1) 第12回 Chocolate (2) 第13回 Surrogate Mothers (1) 第14回 Surrogate Mothers (2) 【翌週レポート提出】 第15回 まとめ	
進め方	授業の主体は学生諸君であるから、毎回、数名の方を指名する。指名された方は、まず音読し、その後翻訳することになる。しっかりと予習しておくこと。必要に応じてテキストに現れた欧米の社会と文化について説明・解説すると共に、書かれている事柄について意見を求める。		
テキスト	Current Issues and Topics（『現代の話題を取り上げる』） 門田修平監修、大阪教育図書、ISBN978-4-271-11316-4、¥1,600（本体1,520＋税）	参考文献	特にない。
評価方法	数回の課題レポート:70% 授業中の小テスト:15% 授業中の発表:15%		

共通英語（社会と文化）		通年 2 単位	1年
共通英語（社会と文化）：オーストラリアの歴史と社会		杉田 弘也（すぎた ひろや）	
ねらい	共通英語では、英語を学ぶことはもちろんですが、英語の文献を手段としてその内容に対する理解を深めることが重要ですと考えています。この授業では、オーストラリアについてその歴史や現代社会・文化に関する文献を読みます。観光地やめずらしい動物の宝庫だけではないオーストラリアについて、関心を持っていただければと思います。		
授業計画	【前期】 第1回 インTRODakション 第2回 オーストラリアの人々 1 第3回 オーストラリアの人々 2 第4回 オーストラリアの土地と環境 第5回 オーストラリアの州と地域 第6回 オーストラリアの宗教、経済 第7回 オーストラリアを象徴するもの 1 第8回 オーストラリアを象徴するもの 2 第9回 オーストラリアの歴史：イギリスの侵略 第10回 オーストラリアの歴史：流刑植民地 1 第11回 オーストラリアの歴史：流刑植民地 2 第12回 オーストラリアの歴史：パイオニアたち 第13回 オーストラリアの歴史：第1次世界大戦 第14回 オーストラリアの歴史：第2次世界大戦 第15回 オーストラリアの歴史：アンザック伝説	【後期】 第1回 オーストラリアの経済と政治： 1 第2回 オーストラリアの経済と歴史： 2 第3回 オーストラリアの経済と歴史： 3 第4回 オーストラリアとスポーツ： 1 第5回 オーストラリアとスポーツ： 2 第6回 オーストラリアのナショナリズムと国家の形成 1 第7回 オーストラリアのナショナリズムと国家の形成 2 第8回 オーストラリアのナショナリズムと国家の形成 3 第9回 オーストラリアの先住民 1 第10回 オーストラリアの先住民 2 第11回 オーストラリアの先住民 3 第12回 オーストラリアの文化 1 第13回 オーストラリアの文化 2 第14回 学年末レポートについて 第15回 まとめ	
進め方	出席簿順に5～6名程度ずつ予習範囲を割り当てます。割り当てられた部分の訳を授業で発表できるよう準備してください。予習してきたものはその範囲終了後提出し、次の週に返却します。割り当てられた部分の提出は必須ですが、割り当てられた場所ではなくても自主的に予習して提出することを期待しています。		
テキスト	その都度配布します。	参考文献	
評価方法	予習:40% 予習の提出回数:20% 学年末レポート:40%		

共通英語（言語）		通年 2 単位	1年
英語と日本語の比較を通して文化について考える		石井 朋子（いしい ともち）	
ねらい	2つあります。1つ目は英文の読解力を高めることで、特に英文を前から理解していく練習をしていきます。2つ目はテキストを通して、言語やコミュニケーションについて学ぶことです。特に、英語と日本語の違い、そしてその奥にある文化の違いを知ることによって、それぞれの文化に対する理解を深めていけるといと思います。		
授業計画	【前期】 第1回 ガイダンス 第2回 I. How We Learn Language 第3回 1) How Do You Do? 第4回 2) From General to Specific 第5回 3) No Two Words Are Equal 第6回 4) Is There a Right Answer? 第7回 5) Tommy and Taro Go to School 第8回 ここまでの復習 第9回 II. What's Behind Our Language 第10回 6) A Tale of Two Computers 第11回 7) 100 Ideas Per Minute! 第12回 8) Right Brain, Left Brain 第13回 9) How Kind of You! 第14回 10) Invisible Communication 第15回 定期試験	【後期】 第1回 前期の復習 第2回 III. How Communication Works 第3回 11) The Thought Is Not the Thinker 第4回 12) This is a Pen 第5回 " 第6回 13) Is This Your Pen? 第7回 14) Your Money or Your Life! 第8回 15) I Apologize 第9回 ここまでの復習 第10回 16) Social Noises 第11回 17) The Sound of Emotions 第12回 18) The Medium 第13回 19) Feedback from the Receiver 第14回 まとめ 第15回 定期試験	
進め方	基本的には、クラス全員で読む練習をした後、当たった人が英文の意味を答えるという形で授業を進めていきます。事前に訳の分担をすることはありませんので、誰が当たるかは分かりません。従って、いつ当たっても答えられるよう、毎週、全員が予習をしてきて下さい。また、授業には辞書を持ってくること。		
テキスト	Carl Becker著 『Communication: East and West (コミュニケーション入門)』 英宝社	参考文献	
評価方法	出席:15% 平常点:10% 小テスト:20% 定期試験:55%		

共通英語（言語）		通年 2 単位	1年
A: 口語表現を学ぶ。B: 英語の文化的背景を学ぶ。		鶴見 典子（つるみ のりこ）	
ねらい	言葉と文化の問題に焦点を当て、文化的ギャップ埋めていくことが、外国語習得において大切であるという趣旨で作られたテキストを使用する。英語に関する背景的・教養的知識を身につけつつ、外国語学習本来の目的である異なる文化の人々とコミュニケーションのために学ぶことが出来るよう、自らを動機づけしていく機会としたい。		
授業計画	<p>【前期】</p> 第1回 A: Unit 1 B: Preface 第2回 A: Unit 2 B: English Today 第3回 A: Unit 3 B: English Today 第4回 A: Unit 4 B: English Today 第5回 A: Unit 5 B: The Story of English 第6回 A: Unit 6 B: the Story of English 第7回 A: Unit 7 B: The Story of English 第8回 A: Unit 8 B: Foreign Friends 第9回 A: Unit 9 B: Foreign Friends 第10回 A: Unit 10 B: Foreign Friends 第11回 B: The English Treasure Chest of Words 第12回 B: The English Treasure Chest of Words 第13回 B: The English Treasure Chest of Words 第14回 質問の時間 第15回 定期試験	<p>【後期】</p> 第1回 A: Unit 11 B: The Story of American English 第2回 A: Unit 12 B: The Story of American English 第3回 A: Unit 13 B: The Story of American English 第4回 A: Unit 14 B: The Language of Men and Women 第5回 A: Unit 15 B: The Language of Men and Women 第6回 A: Unit 16 B: The Language of Men and Women 第7回 A: Unit 17 B: "Bad" English 第8回 A: Unit 18 B: "Bad" English 第9回 A: Unit 19 B: "Bad" English 第10回 A: Unit 20 B: English Around the World 第11回 A: Test(1) B: English Around the World 第12回 A: Test(2) B: English Around the World 第13回 A: Test(3) B: The Future of English 第14回 A: Test(4) B: The Future of English 第15回 定期試験	
進め方	授業前半30分でAのテキストを学ぶ。後半でBのテキストを読み進めるが、各自毎回きちんと予習をしてくる。訳の筆記に時間を費やすことのないよう、分からない箇所は、事前に明らかにしておき、授業中に確認していただきたい。		
テキスト	A: Tune up for the Toeic Test Listening (成美堂) B: English and Many Cultures (成美堂)	参考文献	
評価方法	定期試験:60% 提出物、発表、出席:40%		

共通英語（生命と自然）		通年 2 単位	1年
構造で読む自然科学エッセイ		木村 さなえ（きむら さなえ）	
ねらい	英文の構造の特徴に注意を払いながら、身近な自然科学の話題を読んでいきます。毎回の講義で読む文章はさほど長くないので、英語に苦手意識を持つ方でも、これから新たな気持ちで慣れていきましょう。毎回講義の初めに、聞き取り練習も行い、英語の聴解力増強も図っていきます。		
授業計画	<p>【前期】</p> 第1回 オリエンテーション 第2回 主教材 Unit 1, 副教材 Exercise 1 第3回 Unit 1, Exercise 2 第4回 Unit 2, Exercise 3 第5回 Unit 2, Exercise 4 第6回 Unit 3, Exercise 5 第7回 Unit 3, Exercise 6 第8回 Unit 4, Exercise 7 第9回 Unit 4, Exercise 8 第10回 Unit 5, Exercise 9 第11回 Unit 5, Exercise 10 第12回 Unit 6, Exercise 11 第13回 Unit 6, Exercise 12 第14回 Review Period 第15回 Examination	<p>【後期】</p> 第1回 Overall Review of the 1st-term Examination 第2回 Unit 7, Exercise 13 第3回 Unit 7, Exercise 14 第4回 Unit 8, Exercise 15 第5回 Unit 8, Exercise 16 第6回 Unit 9, Exercise 16 第7回 Unit 9, Exercise 17 第8回 Unit 10, Exercise 18 第9回 Unit 10, Additional Material 1 第10回 Unit 11, Additional Material 2 第11回 Unit 11, Additional Material 3 第12回 Unit 12, Additional Material 4 第13回 Unit 12, Additional Material 5 第14回 Review Period 第15回 Examination	
進め方	授業の初めの10分間ほどを聴解練習にあて、これをもって平常点とします。よって遅刻は厳禁。続いて講読とします。テキスト本文の後に設問もあるため、各自積極的に予習に取り組んで授業に臨むこと。毎回全員が訳もしくは解答をすることになります。活発な授業参加を期待します。		
テキスト	Outlook on Science Yumiko Ishitani and Suzanne Embury, Nan' un-do Your Window on Listening Braven Smillie and Hiromi Nema, Kinseido	参考文献	
評価方法	平常点(=出席):20% 前期末定期試験:40% 学年末定期試験:40%		

共通英語（生命と自然）		通年 2 単位	1年 教養・子ども
木11限(L1 C1) 最新の科学、医療情報を一般向け科学雑誌より正確に取り入れる。		海琳 泰子（みたま やすこ）	
ねらい	米国の一般人向け科学週刊誌 <i>Science News</i> より生物、環境 医療 天文学分野の15トピックを選んで作られたテキストを読む。		
授業計画	【前期】 第1回 推薦映画 BBCWorldのニュースの聞き取り提出 第2回 同上 1. Talk to the Hand 第3回 同上 2. No Place Like Om 第4回 ニュースの聞き取り提出 同上 第5回 聞き取り 3. Unstoppable Bot 第6回 ニュースの聞き取り 同上 第7回 同上 4. Mafia Cowbirds 第8回 ニュースの聞き取り 同上 第9回 ニュースの聞き取り 5. Nice Shot 第10回 ニュースの聞き取り 同上 第11回 同上 6. Cleaning Treasures 第12回 ニュースの聞き取り 同上 第13回 同上 7. Pothole Pals 第14回 ニュースの聞き取り 同上 第15回 まとめ 定期試験	【後期】 第1回 英語学習に不可欠なヨーロッパ文化、歴史 第2回 BBCWorldのニュースの聞き取り提出 EUの東方拡大 第3回 提出 8. Violent Justice 第4回 提出 9. Why So Dry? 第5回 提出 10. Formula for Panic 第6回 ニュースの聞き取り 11. Low Life 第7回 ニュースの聞き取り 12. In the Zone 第8回 同上 13. Ancient Extract 第9回 ニュースの聞き取り 同上 第10回 ニュースの聞き取り 14. Smoke Out 第11回 ニュースの聞き取り 同上 第12回 ニュースの聞き取り 15. New Black 第13回 ニュースの聞き取り 同上 第14回 ニュースの聞き取り 同上 第15回 まとめ 定期試験	
	進め方	授業最初の20分間はBBCWorldのニュースの聞き取り。年間8回提出、採点。次週に解説(地理、紛争の歴史等)テキストはパラグラフ毎の要約を授業中に作成。インタビューコーナーでListeningの力をつける。www.sciencenews.orgを訪ねて最新の記事に挑戦してみよう。長期欠席は届けを提出すること。定期試験欠試は不可。	
テキスト	Kevin Cleary 松本和子 野崎嘉信 著 <i>Science Speaks</i> 金星堂	参考文献	
評価方法	定期試験:60% ニュースの聞き取り:20% 授業中の解答:10% 出席:10%		

共通英語（生命と自然）		通年 2 単位	1年 国文・家政・芸術
木111限(J1 H1 A1) 最新の科学、医療情報をいかに正確に、日常生活にとりいれていくか。		海琳 泰子（みたま やすこ）	
ねらい	論理的思考の表現にふさわしい英語で科学的知識を深めながら、言語能力（日本語、第二外国語も）を高めていきたい。		
授業計画	【前期】 第1回 ニュースの聞き取り提出 1. Microbes 第2回 聞き取り提出 2. Genetic Doping 第3回 聞き取り提出 3. Ethics in Science 第4回 ニュースの聞き取り提出 4. Stem Cell 第5回 ニュースの聞き取り 同上 第6回 ニュースの聞き取り 5. Tsunami 第7回 ニュースの聞き取り 同上 第8回 聞き取り 6. World Population 第9回 聞き取り 同上 第10回 聞き取り 7. Peak Oil Crash 第11回 聞き取り 8. Starvation 第12回 聞き取り 9. Nanotechnology 第13回 聞き取り 10. Efficient Cars 第14回 ニュースの聞き取り 同上 第15回 まとめ 定期試験	【後期】 第1回 英語学習に不可欠なヨーロッパ文化、歴史 第2回 ニュースの聞き取り提出 11. Cyborg 第3回 ニュースの聞き取り提出 同上 第4回 ニュースの聞き取り提出 12. Identity Theft 第5回 ニュースの聞き取り提出 13. Chaos Theory 第6回 聞き取り 14. Comets, Meteors, and Asteroids 第7回 聞き取り 15. Space Stations 第8回 同上 16. Life on Other Planets 第9回 聞き取り 17. Evolution 第10回 聞き取り 18. Fixing Nature 第11回 ニュースの聞き取り 同上 第12回 同上 19. Remaking the Face of the Earth 第13回 ニュースの聞き取り 20. Natural Heritage 第14回 ニュースの聞き取り 同上 第15回 まとめ 定期試験	
	進め方	授業最初の20分間はBBCWorldのニュースの聞き取り。年間8回提出、採点。次週に解説(地理、紛争の歴史等)。テキストはパラグラフ毎の要約を授業中に作成。Exercisesは学生が起立し大きな声で解答。新聞の科学欄のテキスト関連の記事(電子版も可)のファイルを作ること。長期欠席は届けを提出すること。定期試験欠試は不可。	
テキスト	Bruce Allen 宍戸真 著 <i>Imagining Tomorrow</i> 成美堂	参考文献	
評価方法	定期試験:60% ニュースの聞き取り:20% 授業中の解答:10% 出席:10%		

共通英語（基礎）		通年 2 単位	1年
英文法の全般的解説		井伊 順彦（いい のぶひこ）	
ねらい	外国語に関しては、かなり成績のよい学生でも、いざ文法の細かい点まで問われると、意外に知らない点が多いものだ。本授業では、素直な文体で書かれた（内容は濃い）教科書を読みながら、英文法の基礎を徹底的に復習してゆく。声に出して文を読むことも基本として大事なので、その機会もなるべく多く設ける。		
授業計画	<p>【前期】</p> 第1回 授業内容の説明および印刷物を配布しての紹介授業 第2回 前回配布した印刷物を用いての通常授業 第3回 上記印刷物および教科書を用いての通常授業 第4回 教科書を用いての通常授業 第5回 同上 第6回 同上（理解の程度を確認するためのレポートの指示） 第7回 同上（補助プリントを配布しての解説） 第8回 同上 第9回 同上（上記レポートの提出） 第10回 同上 第11回 同上（小テストもおこなう） 第12回 同上（上記小テストの返却および解説） 第13回 同上 第14回 同上 第15回 同上（前期の状況を振り返り、今後の学習指導をする）	<p>【後期】</p> 第1回 同上（夏休み中の勉強ぶりを確認するための小テスト） 第2回 同上 第3回 同上 第4回 同上 第5回 同上（ここまでの段階で気づいた自分の弱点の確認） 第6回 同上（補助プリントを配布しての解説） 第7回 同上 第8回 同上 第9回 同上 第10回 同上（小テスト） 第11回 同上 第12回 同上 第13回 同上 第14回 同上（今後の勉強方法についての指示） 第15回 試験	
進め方	授業ごとに、前もって指名された4名程度の受講生が、各自の担当箇所を読んで訳す。その際には発音も重視される。訳したのちに、まずレコーダで同じ箇所を聴いて正確な発音を全員で確認し、ついで担当者が文法などに関する教師の質問に答える。		
テキスト	『現代アメリカの洞察』（金星堂）1850円（税別）	参考文献	おりにふれて教室で指示する。
評価方法	平常点:30% 小テスト:10% 試験:25% 貢献（教室で説明）:15% 出席:20%		

共通英語（基礎）		通年 2 単位	1年
英文法と英文読解の基礎		黒岩 裕（くろいわ ゆたか）	
ねらい	英文法の基礎として、まず初めに2つのこと学びます。1つは品詞と5文型、もう1つは修飾と被修飾の関係です。これらの基礎の確認を通して、文の意味は、個々の単語の意味だけでなく、単語同士の関係性でつくられていることを理解します。その後、重要な文法事項を確認しながら、平易な英文を読んで、読解能力を養います。		
授業計画	<p>【前期】</p> 第1回 英語の学習方法について 第2回 品詞 1 第3回 品詞 2 第4回 5文型 1 第5回 5文型 2 第6回 修飾・被修飾の関係 1 第7回 修飾・被修飾の関係 2 第8回 完了形 1 第9回 完了形 2 第10回 助動詞 1 第11回 助動詞 2 第12回 態 1 第13回 態 2 第14回 前期のまとめ 第15回 前期試験	<p>【後期】</p> 第1回 不定詞 1 第2回 不定詞 2 第3回 分詞 1 第4回 分詞 2 第5回 動名詞 1 第6回 動名詞 2 第7回 比較 1 第8回 比較 2 第9回 関係詞 1 第10回 関係詞 2 第11回 関係詞 3 第12回 仮定法 1 第13回 仮定法 2 第14回 後期のまとめ 第15回 後期試験	
進め方	解説を中心に授業を進めますが、何か分からないことがあれば積極的に質問してください。英文法の基礎をしっかりと定着させるため、音読も取り入れます。既習事項の確認のため、適宜小テストを行います。		
テキスト	Basic English Grammar with Short Readings（朝日出版）	参考文献	適宜紹介します。
評価方法	出席:10% 小テスト・課題:10% 前期試験:40% 後期試験:40%		

共通英語（基礎）		通年 2 単位	1年
英語79のポイント		鈴木 千加子（すずき ちかこ）	
ねらい	コミュニケーションに必要な英語・英文理解に対応できる技能を習得していきます。先ずはそのために欠かせない文法知識を段階的に学習し、フィードバックを通して英語構文の特徴を理解し、文脈内容を容易に捕らえることが出来るよう学んでいきます。		
授業計画	【前期】 第1回 オリエンテーション 第2回 品詞・文法 英英辞書について 第3回 句・節・文 エッセイ（1） 第4回 名詞 科学エッセイ（1） 第5回 代名詞 短編小説（1） 第6回 冠詞 ジョーク 第7回 復習 第8回 形容詞 怪談 第9回 動詞 自叙伝 第10回 時制 コラム 第11回 進行形 マンガ（1） 第12回 完了形 科学エッセイ（2） 第13回 助動詞 エッセイ（2） 第14回 まとめ 第15回 中間考査	【後期】 第1回 不定詞 エッセイ（3） 第2回 動名詞 笑い話 第3回 分詞 エッセイ（4） 第4回 副詞 マンガ（2） 第5回 前置詞 名言・迷言 第6回 接続詞 科学エッセイ（3） 第7回 復習 第8回 受動態 エッセイ（5） 第9回 比較・否定 ことわざ 第10回 疑問詞 映画セリフ 第11回 関係詞 エッセイ（6） 第12回 仮定法・話法 短編小説（2） 第13回 無生物主語・名詞構文 エッセイ（7） 第14回 強調・倒置・省略・挿入 短編小説（3） 第15回 期末考査	
進め方	演習方式で行います。習得の過程で（特に文法上の）構文解釈や英語特有の表現法に難儀が生じる場合は、種々の例を挙げながらその説明に時間を割く予定ですので、必ずしも上記の授業計画通りに進むとは限らないことを了承してください。また、テキストと共に、毎回必ず辞書を持参して下さい。		
テキスト	Basic Grammar for College Students by Hidehiko Konaka 成美堂出版	参考文献	
評価方法	口頭発表:15% レポート・小テスト:15% 定期考査:70%		

共通英語（基礎）		通年 2 単位	1年
英文法と英文読解の基礎		藤村 待子（ふじむら まちこ）	
ねらい	英語で書かれた文章を正確に読んでいく為の知識、技術を学ぶことを目標とします。授業では、読解の前提となる文法についての知識（品詞、文型、修飾・非修飾の関係など）を丁寧に確認していきます。また、人権や環境問題について書かれた短い英文を読み、英語を様々な角度から読み解くための手掛かりについても触れていきたいと思っています		
授業計画	【前期】 第1回 Introduction 第2回 文型(1) 第3回 文型(2) 第4回 文型(3) 第5回 名詞 第6回 冠詞 第7回 代名詞 第8回 進行形 第9回 完了形(1) 第10回 完了形(2) 第11回 助動詞(1) 第12回 助動詞(2) 第13回 態(1) 第14回 態(2) 第15回 前期試験	【後期】 第1回 不定詞(1) 第2回 不定詞(2) 第3回 分詞(1) 第4回 分詞(2) 第5回 動名詞(1) 第6回 動名詞(2) 第7回 比較(1) 第8回 比較(2) 第9回 関係詞(1) 第10回 関係詞(2) 第11回 仮定法(1) 第12回 仮定法(2) 第13回 修飾と非修飾の関係 まとめ(1) 第14回 修飾と非修飾の関係 まとめ(2) 第15回 後期試験	
進め方	教科書以外に適宜プリントも配布いたします。テキストやプリントの説明が中心になりますが、なるべく皆さんに発言していただく機会を多く設けたいと思っています。また授業内容は、受講者の興味・理解度に応じて、柔軟に修正していきたくと思っていますので、どうぞ積極的に授業に参加してください。		
テキスト	Keiichiro Fukui and Chikara Kato著 <i>Basic English Grammar with Short Readings</i> （『読むための基礎英文法』朝日出版社）	参考文献	授業中に適宜紹介いたします。
評価方法	出席・授業への参加:20% 小テスト・課題:20% 前期試験:30% 後期試験:30%		

共通英語（再履修クラス）		通年 2 単位	2・3年
:英語の基礎力をつける。		鶴見 典子（つるみ のりこ）	
ねらい	英語の常識が身につく基礎トレーニングを行う。気持ちを入れ替えて、基礎的な英語力をつけてほしいと思う。また、リーディングにより、語彙や表現力を増やし、リスニング力も伸ばしていきたいと思う。		
授業計画	【前期】 第1回 Chapter 1-2 Unit 1 第2回 Chapter 3-4 Unit 2 第3回 Chapter 5-6 Unit 3 第4回 Chapter 7-8 Unit 4 第5回 Chapter 8-9 Unit 5 第6回 Chapter 10-11 Unit 6 第7回 Chapter 12-13 Unit 6 第8回 Chapter 14-15 Unit 7 第9回 Chapter 16-17 Unit 7 第10回 Chapter 18-19 Unit 8 第11回 Chapter 20-21 Unit 8 第12回 Chapter 22-23 Unit 9 第13回 Chapter 24 Unit 9 第14回 前期のまとめ 第15回 定期試験	【後期】 第1回 Chapter 25-26 Unit 10 第2回 Chapter 27-28 Unit 10 第3回 Chapter 29-30 Unit 11 第4回 Chapter 31-32 Unit 11 第5回 Chapter 34-35 Unit 12 第6回 Chapter 36-37 Unit 12 第7回 Chapter 38-39 Unit 13 第8回 Chapter 40-41 Unit 13 第9回 Chapter 42-43 Unit 14 第10回 Chapter 44-45 Unit 14 第11回 Chapter 46-47 Unit 15 第12回 Chapter 48 Unit 15 第13回 Appendix 第14回 総仕上げ・質問の時間 第15回 定期試験	
進め方	授業の前半でリスニングとリーディングを行う。後半で、表現力、文法力をつけるテキストで、学んでいく。		
テキスト	Learn by Comparing（朝日出版） Toeic Test Reading(南雲堂)	参考文献	
評価方法	定期試験:50% 発表、出席、授業態度:50%		

共通英語（再履修クラス）		通年 2 単位	2・3年
映画で学ぶ英語		矢部 寿美子（やべ すみこ）	
ねらい	この授業では、前期・後期それぞれ映画をひとつずつ教材として取り上げ、英語を聞き取る耳を養い、会話表現や文化を幅広く学ぶ。日常生活で実際に使われる英語に慣れ、英語のコミュニケーション能力を強化すると共に、1950年代以降のアメリカ社会における様々な問題や地域性・文化に対する理解を深める。		
授業計画	【前期】 第1回 Introduction - Forrest Gump 第2回 Unit 1 : The Ku-Klux Klan 第3回 Unit 2 : Elvis Presley 第4回 Unit 3 : John F. Kennedy 第5回 Unit 4 : The Folk Song Movement 第6回 Unit 5 : The Vietnam War 第7回 Unit 6 : Vietnam War and PTSD 第8回 Test 第9回 Unit 7 : Hippies 第10回 Unit 8 : John Lennon 第11回 Unit 9 : Watergate 第12回 Unit 10 : Apple Computer 第13回 Unit 11 : Bicentennial Celebrations 第14回 Unit 12 : AIDS 第15回 Test	【後期】 第1回 Introduction - I am Sam 第2回 1. Lucy Diamond 第3回 2. Not like other daddies 第4回 3. Surprise 第5回 4. Ritta Harrison 第6回 5. Pro Bono 第7回 Review 第8回 Test 第9回 6. Free Lucy Dawson 第10回 7. All you need is love 第11回 8. Constancy and Patience 第12回 9. Dessert with Rita 第13回 10. We can work it out 第14回 Review 第15回 Test	
進め方	授業の始めに映画の一部（約10分間）を見て概要をつかむ。その後、発音や語彙、表現を確認し、リスニングやペアワークを行う。最後にスクリプトを読み、理解を深める。毎回、簡単な単語クイズ（20問）を行う。		
テキスト	American History in Focus. マクミランランゲージハウス. 2100円 I am Sam. スクリーンプレイ. 1200円.	参考文献	
評価方法	クイズ:30% テスト:70%		

英語 I (Reading)		通年 2 単位	1年
映画の英語を学ぼう		大澤 岳彦 (おおさわ たけひこ)	
ねらい	この授業では、講師が 毎週木曜 <i>The Daily Yomiuri</i> に13年間640回連載している記事 “Film Takes” を中心に映画英語を学んでいきます。語彙力増強、台本精読、翻訳を中心に、映画の英語の基本（構成、文化背景、特徴的な語彙など）を把握していききたいと思います。		
授業計画	【前期】 第 1回 授業の進め方、課題等の説明 第 2回 映画英語の特徴 1 第 3回 映画英語の特徴 2 第 4回 映画英語の特徴 3 第 5回 カンヌ映画祭など世界の映画祭 第 6回 言葉の言い換え 1 第 7回 言葉の言い換え 2 第 8回 映像文脈を読む 1 第 9回 映像文脈を読む 2 第10回 共通認識と教養 1 第11回 共通認識と教養 2 第12回 時代設定と流行 1 第13回 時代設定と流行 2 第14回 前期フィードバック 第15回 総まとめ レポート提出日	【後期】 第 1回 後期オリエンテーション 第 2回 東京国際映画祭 第 3回 固有名詞の知識 1 (スポーツ、音楽、嗜好品) 第 4回 固有名詞の知識 2 (本、映画、会社) 第 5回 語彙力の低下と映画翻訳 1 第 6回 語彙力の低下と映画翻訳 2 第 7回 表現力の低下と映画翻訳 1 第 8回 表現力の低下と映画翻訳 2 第 9回 映画配給と翻訳 1 第10回 映画配給と翻訳 2 第11回 「映画翻訳は永遠に」 第12回 アカデミー賞など映画各賞 第13回 後期フィードバック 第14回 総合フィードバック 第15回 総まとめ レポート提出日	
進め方	この授業では、台本や新聞記事を使って、映画に関する英語の特徴を把握します。英語力と語学センスの向上、文化的背景の把握に主眼に、英語力をつけていきたいと思えます。授業の中心となるのは、語彙力向上、台本精読、日本語訳という作業です。そこから、日英（米）表現、文化の違いに気づけば、授業の目的は達成されます。		
テキスト	大澤岳彦、大塚真弓 “ <i>A Shorter Course in Newspaper English</i> ” 南雲堂	参考文献	大澤岳彦 “Film takes” 記事、 <i>The Daily Yomiuri</i> 木曜連載
評価方法	出席:20% 翻訳課題:30% 発言、小テスト:20% 期末レポート:30%		

英語 I (Reading)		通年 2 単位	1年
英語読解における勘の排除		菅野 昌彦 (すがの まさひこ)	
ねらい	英文読解がどうしても不得意である学生に、どの辺に自分の弱点があるのかを尋ねても、自分自身理解していない学生がとても多い。それを知るためにもシステムである言語が、どのように構築されているのかを理解することから始めたいです。		
授業計画	【前期】 第 1回 guidance 第 2回 pre-position and post-positon 第 3回 word order 第 4回 case-marking 第 5回 phrase 第 6回 noun clause 第 7回 adjective clause 第 8回 adverbial clause 第 9回 conjunction 第10回 sentence 1 第11回 sentence 2 第12回 paragraph 1 第13回 paragraph 2 第14回 review 第15回 test	【後期】 第 1回 guidance 第 2回 practice 第 3回 practice 第 4回 practice 第 5回 practice 第 6回 practice 第 7回 practice 第 8回 practice 第 9回 practice 第10回 practice 第11回 practice 第12回 practice 第13回 practice 第14回 review 第15回 test	
進め方	できる限りいろいろなジャンルの内容を読んでいきたいと思っています。又、いかなる質問も歓迎します。		
テキスト	プリント使用。	参考文献	特に無し。
評価方法	出席率:10% 試験:90%		

英語 I (Reading)		通年 2 単位	1年
英語リーディングのストラテジー		鈴木 千加子 (すずき ちかこ)	
ねらい	英文の内容を把握するために必要なスキルを、興味深いトピックを読みながら学んでゆく英文読解力養成講座です。そのための必要なスキルを段階的に種々の学習法を通して習得し、文脈内容を難なく把握することを目指します。テキストとして、困難を克服して成功した父親が娘につづった愛情溢れるエッセイを使用します。		
授業計画	【前期】 第1回 Orientation 第2回 Unit 1 Don' t let others influence you 第3回 同上 第4回 Unit 2 Focus on what you like 第5回 同上 第6回 Unit 3 Common sense is not so common 第7回 同上 第8回 Unit 4 Go and see the world! 第9回 同上 第10回 Unit 5 Learn philosophy, learn to "think" 第11回 同上 第12回 Unit 6 It' s the century of China, learn Mandarin! 第13回 同上 第14回 Review 第15回 Test	【後期】 第1回 Unit 7 Learn history! 第2回 同上 第3回 Unit 8 Know yourself 第4回 同上 第5回 Unit 9 Recognize change and embrace them 第6回 同上 第7回 Unit10 Look to the future! 第8回 同上 第9回 Unit 11 Go against the tide 第10回 同上 第11回 Unit 12 Lady luck smiles on those who continue ~ 第12回 同上 第13回 Review 第14回 同上 第15回 Test	
進め方	演習形式で行います。講読の過程で(特に文法上の)構文解釈や英語特有の表現法の理解に難儀が生じる場合は、種々の例を挙げながらその説明に多少の時間を割く予定ですので、必ずしも上記の授業計画通りに進むとは限らないことを了承して下さい。また、テキストと共に毎回、必ず辞書を持参して下さい。		
テキスト	A Gift to My children: Osamu Kato et al: Asahi Press	参考文献	
評価方法	口頭発表:15% レポート・小テスト:15% 定期考査:70%		

英語 II (Writing)		通年 2 単位	1年
英語で自己表現をする力を養う		尾嶋 万紀 (おじま まき)	
ねらい	本授業では、英語で自己表現をする際に必要な語法や文章構成に関する基礎知識を段階的に学んでいきます。前期はパラグラフの基本について学ぶとともに、身近な話題について分かりやすい文章を書くことに重点を置きます。後期はパラグラフからエッセイへの発展を目指し、クリティカルな視点から問題を分析し、自分の考えや意見を述べる力を鍛えます。		
授業計画	【前期】 第1回 授業概要、評価についての説明 第2回 Ch1: Organization -The Key to Good Writing 第3回 人物紹介 -現在時制の復習 第4回 Ch2: Understanding Paragraphs 第5回 文・パラグラフ構成 -単文・重文・複文の復習 第6回 Ch3: Organizing Information by Time 第7回 時間の流れを表現する -過去時制の復習 第8回 Ch5: Organizing Information by Space 第9回 空間を描写する -前置詞の復習 第10回 Ch4: Organizing Information by Order of Importance 第11回 情報、アイデアの優先順位を決める 第12回 Ch6: The Writing Process 第13回 プレーンストーミング 第14回 Ch7: Supporting the Main Idea 第15回 グラフや表のデータをライティングの中に取り入れる	【後期】 第1回 Ch8: Giving Instructions 第2回 説明文 -助動詞の復習 第3回 Ch9: Writing Descriptions 第4回 状況を描写する -形容詞の復習 第5回 Ch10: Expressing an Opinion 第6回 理由、例を挙げて考えを述べる 第7回 Ch11: Comparing and Contrasting 第8回 比較の表現の復習 第9回 Ch12: Writing About Causes and Effects 第10回 因果関係の記述 -原因・理由を表すことばの復習 第11回 Ch13: Writing Personal and Business Letters 第12回 Ch14: Writing Summaries 第13回 Writing an Essay 1 -Choosing a Topic 第14回 Writing an Essay 2 -Organizing Information 第15回 Writing an Essay 3 -Writing and Editing a Draft	
進め方	パラグラフ構成や英文法、エッセイを書くうえでの留意事項を学ぶとともに、ライティング課題の計画、ドラフト作成、推敲を行います。また、ペアワークやグループワークを通してトピックに関するアイデアや理解を深め、読み手に対し、より分かりやすくアピールする文章を書くにはどうすればよいかを考えていきます。		
テキスト	Ready to Write: A First Composition Text K. Blanchard & C. Root (Longman 2003)	参考文献	授業時に紹介します
評価方法	提出物:40% エッセイ:20% 小テスト・授業内活動:30% 出席:10%		

英語Ⅱ (Writing)		通年 2 単位	1年
Writing Practice		木村 さなえ (きむら さなえ)	
ねらい	Students are expected to 1)prepare by reading and answering questions in the textbook at home, 2) participate actively in the classroom, and 3)review what they have learned in the classroom at home after every lesson. By doing this, they will be able to write what they would like to express in English easily.		
授業計画	<p>【前期】</p> 第1回 Introduction (Main Text)Unit 1+2 第2回 Unit 3 (Sub Text) Exercise 1 第3回 Unit 4, Exercise 2 第4回 Unit 5+6, Exercise 3 第5回 Unit 7, Exercise 4 第6回 Unit 8, Exercise 5 第7回 Unit 9, Exercise 6 第8回 Unit 10, Exercise 7 第9回 Unit 11, Exercise 8 第10回 Unit 12, Exercise 9 第11回 Unit 13, Exercise 10 第12回 Unit 14, Exercise 11 第13回 Unit 15, Exercise 12 第14回 Unit 16, Exercise 13 第15回 Examination	<p>【後期】</p> 第1回 Exercise 14 and Writing ---Space Order 1--- 第2回 Exercise 15 and Writing ---Space Order 2--- 第3回 Exercise 16 and Writing ---Time Order 1--- 第4回 Exercise 17 and Writing ---Time Order 2--- 第5回 Exercise 18 and Writing ---Process & Direction 1--- 第6回 Exercise 19 and Writing ---Process & Direction 2--- 第7回 Exercise 20 and Writing ---Facts & Examples 1--- 第8回 Writing ---Definition 1 --- 第9回 Writing ---Definition 2--- 第10回 Writing ---Classification 1--- 第11回 Writing ---Classification 2--- 第12回 Writing ---Comparison & Contrast 1--- 第13回 Writing ---Comparison & Contrast 2--- 第14回 Writing ---Reasons & Cause/Effect 1--- 第15回 Writing ---Reasons & Cause/Effect 2---	
進め方	The first 10 minutes will be given for the listening quiz. This will be the ' basic grades' ,therefore, don' t be late for the class. In the first semester, the final exam will be the grammar check. In the second semester, ' essay' type of assignment will be given and therefore there will be NO written final exam.		
テキスト	24-Topic Listening for the TOEIC Test Ikubundo, Simply Grammar Nan' un-do, A Guide to Paragraph Reading Asahi Press	参考文献	
評価方法	the listening quiz :20% first term exam:30% writing assignment:50%		

英語Ⅱ (Writing)		通年 2 単位	1年
英語でエッセイを書くことの楽しみ		佐久間 晶子 (さくま あきこ)	
ねらい	本授業では、Email、Business letter、Essayを書く力を鍛えていきます。前期は、英語で自己表現することの楽しさを実感したいと思います。後期は、さまざまなテーマのもとにエッセイを書いて、発表することを実践していきます。共通テーマから1篇と自ら選択したテーマから1篇の英語エッセイを選び、後期の集大成は英語エッセイ集の作製です。		
授業計画	<p>【前期】</p> 第1回 Orientation:前期の授業方針、クラスルール 第2回 Emailの書き方、Business letterの書き方、課題No.1 第3回 Introduction: Process Writing 第4回 Unit 1 Pre-Writing: Getting Ready to Write 第5回 Unit 2 The Structure of a Paragraph 第6回 Unit 2 The Structure of a Paragraph, 課題No.2 第7回 Unit 3 The Development of a Paragraph 第8回 Unit 3 The Development of a Paragraph 第9回 Unit 4 Descriptive and Process Paragraph 第10回 Unit 4 Descriptive and Process Paragraph 課題No.3 第11回 Unit 5 Opinion Paragraph 第12回 Unit 6 Comparison/ Contrast Paragraphs 第13回 Unit 7 Problem/ Solution Paragraphs 第14回 前期のまとめの試験 第15回 課題エッセイNo.4の提出とクラス発表	<p>【後期】</p> 第1回 夏休みの課題提出、後期授業計画 第2回 Emailの書き方とBusiness letterの書き方の復習 第3回 Unit 8 The Structure of an Essay 第4回 Unit 9 Outlining an Essay, 課題No.1 第5回 Unit 9 Outlining an Essay 第6回 Unit 10 Introductions and Conclusions 第7回 Unit 10 Introductions and Conclusions, 課題No.2 第8回 Unit 11 Unity and Coherence 第9回 Unit 11 Unity and Coherence 第10回 Unit 12 Essays for Examinations 第11回 Unit 12 Essays for Examinations, 課題No.3 第12回 Extra work 第13回 課題エッセイNo.4: Christmas message提出 第14回 クラスエッセイ集編集・印刷・製本 第15回 後期のまとめの試験	
進め方	前期は、テキストの課題に取り組み、「英語で自己表現する」ことを鍛えていきます。後期は、クラス全体のエッセイ集を編集する作業を目標にそれに必要なステップを踏んでいきます。		
テキスト	Success With College Writing From Paragraph to Essay Zemach & Rumisek MACMILLAN LANGUAGEHOUSE	参考文献	授業中に紹介します。
評価方法	試験:40% 課題&発表 :50% 出席:10%		

英語Ⅲ (Listening)		通年 2 単位	1年
メディア英語で学ぶリスニング		大澤 岳彦 (おおさわ たけひこ)	
ねらい	この授業では、講師の専門分野であるメディア英語を中心に教材にしてリスニング力をつけていきたいと思います。英語特有表現の定着をはかりながら、聴解力、読解力を中心とした実力向上を図りたいと思います。		
授業計画	【前期】 第1回 授業の進め方など 第2回 テキスト説明 第3回 Climate change affecting growth of fish 第4回 Rise in crocodile attacks may be linked to logging 第5回 Can a TV quiz be addictive? Some Britons say yes 第6回 Calorie-hungry Japan lines up for taste of America 第7回 USDA proposes requiring school menu compliance 第8回 Fusion Muslim chic hits Europe's streets 第9回 Japanese mothers turn lunch boxes into high art 第10回 Study: Lack of Vitamin D can weaken elderly 第11回 Languages to be compulsory for U.K. primary pupils 第12回 Affluent lifestyle putting Asians at greater risk 第13回 Commercial complex set for Tokyo's Roppongi area 第14回 まとめ 第15回 期末リスニングチェック	【後期】 第1回 前期のフィードバック 第2回 後期の進め方、評価方法 第3回 Starbucks forges ahead despite many missteps 第4回 Decades after Vietnam War, a cultural divide ... 第5回 Russia promotes language as symbol of resurgence 第6回 EU fines brewers for fixing prices 第7回 New York feasts on pricey Kobe beef food fight 第8回 Merkel helps German moms shed "raven mother" tag 第9回 Ravers, traditionalists vie for soul of tango 第10回 Clinton raises \$26 million in first quarter 第11回 Thorny Mexican food staple gains fame as folk cure 第12回 Absolutely everything Tokyo is not 第13回 Petting could leave German teenagers open to ... 第14回 まとめ 第15回 リスニングチェック	
進め方	冒頭で、 <i>Cubic Listening</i> を使って、リスニングとディクテーションを行ないます。その後、新聞記事テキストを教材に、聴解力と読解力の向上を目的とした演習を行います。学生諸君の誤答例をじっくりと解説し、質問に答えます。毎回の演習を大切にしてください。期末テストは実施しません。		
テキスト	大澤岳彦、大塚真弓『5分間英字新聞』南雲堂 Timothy Kimmel <i>Cubic Listening</i> Macmillan Languagehouse	参考文献	"Film Takes" <i>The Daily Yomiuri</i> 木曜版 大澤岳彦
評価方法	出席:20% リスニングクイズ:40% 課題、提出物:40%		

英語Ⅲ (Listening)		通年 2 単位	1年
リスニング向上への構造学的解釈		菅野 昌彦 (すがの まさひこ)	
ねらい	言語とはシステムであり、それはどのような事であるのかを探究していきます。		
授業計画	【前期】 第1回 guidance 第2回 use reading ability to enhance listening skill 第3回 pre-position and post-position 第4回 case-marking 第5回 phrase 第6回 word order 第7回 clause 第8回 clause 第9回 sentence 第10回 sentence 第11回 paragraph 第12回 paragraph 第13回 paragraph 第14回 review 第15回 test	【後期】 第1回 guidance 第2回 practice 第3回 practice 第4回 practice 第5回 practice 第6回 practice 第7回 practice 第8回 practice 第9回 practice 第10回 practice 第11回 practice 第12回 practice 第13回 practice 第14回 review 第15回 test	
進め方	授業に関し、疑問が生じた場合、その日のうちに解決してもらいたいです。質問イコール私へのフィードバックとなりますので、出席するだけでなく、授業に参加して下さい。		
テキスト	プリント使用。	参考文献	特に無し。
評価方法	出席率:10% 試験:90%		

英語Ⅳ (Oral Communication)		通年 2 単位	1年
To improve your ability to communicate in English		ピンター (PINTER, B.)	
ねらい	This is an active class, meaning that you will be expected to attend and participate fully in each class. Participation means using English to communicate through a variety of class activities including pair work and group work.		
授業計画	【前期】 第1回 Introductions / Orientation 第2回 Rejoinders 第3回 Follow-up Questions 第4回 Confirmation Questions 第5回 Keeping or Killing a Conversation 第6回 Expressing Probability 第7回 Interrupting Someone 第8回 Echoing Instructions 第9回 Polite Requests 第10回 Getting a Response 第11回 Soliciting Details 第12回 Making Comparisons 第13回 Finding the Right Word 第14回 Exploring a Word 第15回 Test	【後期】 第1回 Correcting Someone 第2回 Eliciting Confirmation 第3回 Starting and Stopping Conversations 第4回 Beginning and Ending a Phone Call 第5回 Expressing Opinions 第6回 Making a Group Decision 第7回 Discussion Connectors 第8回 Summarizing 第9回 Conducting a Formal Meeting 第10回 For Fun: Find the Strange Word 第11回 Volunteering an Answer 第12回 Applying Conversation Strategies I 第13回 Applying Conversation Strategies II 第14回 Final Review 第15回 Test	
進め方	We will be learning "communication tools" that you will use to become a better speaker of English. You will be expected to monitor your own performance through self assessments and there will be periodic teacher assessments. Tests will be in a speaking format.		
テキスト	Conversation Strategies by David Kehe and Peggy Dustin Kehe	参考文献	None
評価方法	Attendance and Participation:50% Homework Assignments:25% Tests:25%		

英語Ⅳ (Oral Communication)		通年 2 単位	1年
Developing oral communication skills through role-play, presentations and multimedia.		プラット (PLATT, I.R.)	
ねらい	The aims of the course are: a) to develop students' self-confidence and English fluency in everyday situations, b) to be able to respond appropriately and express ideas, opinions, and feelings in a variety of ways, c) to practise becoming an independent learner, d) to learn basic presentation skills.		
授業計画	【前期】 第1回 Course orientation: Using the lab 第2回 Using the self-access internet material 第3回 Introductions: Self introductions, 第4回 Introducing others 第5回 Informal/formal introductions 第6回 Starting Conversations: Conversation openings 第7回 Making small talk 第8回 Making small talk 第9回 Developing Conversations: Asking questions 第10回 Asking follow-up questions 第11回 Rebounding questions, responding 第12回 Invitations and Suggestions: Making these 第13回 Responding to invitations, negotiating details 第14回 Altering plans 第15回 Review	【後期】 第1回 Likes and Dislikes: Talking about likes and dislike 第2回 Stating preferences 第3回 Expressing emotions and feelings 第4回 Requests: Asking for things, 第5回 Asking someone to do something, offering to do somet 第6回 Opinions: Asking for and giving opinions 第7回 Opinions: Asking for and giving opinions 第8回 Opinions, reasons and evidence 第9回 Agreeing and disagreeing with opinions 第10回 Advice: Asking for advice, giving advice 第11回 Responding to advice 第12回 Review 第13回 Presentations 第14回 Presentations 第15回 Presentations	
進め方	The DVD segments form the basis of pair and group work, using the net exercises as homework to develop and reinforce learning and acquisition. In parallel, development of some presentation skills and techniques culminating in a series of presentations will aid larger-group work. Absences will prejudice grades.		
テキスト	Title: The English Course (3rd ed.) Authors & Publishers: Ireland Murphy Woollerton Publishing (Tokyo 2007) ISBN978-4-9902962-1-6	参考文献	
評価方法	Class participation:40% Work done outside class:40% Final presentation/test:20%		

英語Ⅳ (Oral Communication)		通年 2 単位	1年
Public Speech		ウィルソン (WILSON, J. S.)	
ねらい	Learning how to give public speeches in English.		
授業計画	【前期】 第1回 Class and Course Introduction 第2回 Self-Introduction Speech 第3回 Self-Introduction Speech 第4回 Self-Introduction Speech 第5回 Self-Introduction Speech 第6回 Introducing Someone 第7回 Introducing Someone 第8回 Introducing Someone 第9回 Introducing Someone 第10回 Demonstration Speech 第11回 Demonstration Speech 第12回 Demonstration Speech 第13回 Demonstration Speech 第14回 Layout Speech 第15回 Layout Speech	【後期】 第1回 Layout Speech 第2回 Layout Speech 第3回 Book and Movie Reviews 第4回 Book and Movie Reviews 第5回 Book and Movie Reviews 第6回 Book and Movie Reviews 第7回 Show and Tell Speech 第8回 Show and Tell Speech 第9回 Show and Tell Speech 第10回 Show and Tell Speech 第11回 Speech for Presenting and Accepting Awards 第12回 Speech for Presenting and Accepting Awards 第13回 Speech for Presenting and Accepting Awards 第14回 Final Speech 第15回 Final Speech	
進め方	Students will work individually, in pairs, in groups and interactively with the teacher. The textbook will be used in class, but some exercises may be assigned as homework. Students will give a minimum of seven speech presentations over the course of the year.		
テキスト	"Getting Ready for Speech" by Charles LeBeau and David Harrington, pub. Language Solutions Inc., (2002), ISBN1-929274-45-9	参考文献	Students must bring an English or English/Japanese dictionary to each lesson. The teacher will supply supplemental materials as required.
評価方法	Attendance:30% In-class participation / homework:40% Speech presentations:30%		

英語Ⅳ (Oral Communication)		通年 2 単位	1年
English using children's storybooks (児童書・絵本を使用 しての英語授業)		吉田 裕子・リナ (よしだ ひろこ りな)	
ねらい	This 4-skills course looks at various elements, especially language features used in English children's storybooks. The final project of the course is for students to make their own children's storybooks using the language features learned, and present to the class.		
授業計画	【前期】 第1回 Class orientation 第2回 Focusing on rhyme 第3回 Focusing on rhyme (continued) 第4回 Focusing on rhyme (continued) 第5回 Focusing on alliteration 第6回 Focusing on alliteration (continued) 第7回 Focusing on alliteration (continued) 第8回 Focusing on onomatopoeia 第9回 Focusing on onomatopoeia (continued) 第10回 Focusing on onomatopoeia (continued) 第11回 Review activities 第12回 Book Look #1 第13回 Poem presentations 第14回 Book Look #2 第15回 Review activities	【後期】 第1回 Focusing on articles 第2回 Focusing on articles (continued) 第3回 Focusing on writing style 第4回 Focusing on writing style (continued) 第5回 Focusing on story writing 第6回 Focusing on story writing (continued) 第7回 Writing a story review 第8回 Focusing on nursery rhymes 第9回 Focusing on nursery rhymes (continued) 第10回 Review activities 第11回 Preparation for final project 第12回 Preparation for final project 第13回 Storybook presentation 第14回 Peer Book Look 第15回 Feedback & wrap-up session	
進め方	英語の児童書・絵本を使用して4技能(話・聞・書・読)を磨くユニークな英語授業です。最終課題はコース内で紹介された"language features"をもとに各自でオリジナル児童絵本を作成することです。 ◆出席重視のクラスです。最低限必要な出席率:2/3(前期・後期各2/3)		
テキスト	Information will be given in class.	参考文献	Information will be given in class.
評価方法	Homework:20% Poem presentation:20% Story writing:20% Storybook info sheet:20% Storybook project:20%		

英語Ⅳ (Oral Communication)		通年 2 単位	1年
英語Ⅳ (Oral Communication)		涌井 陽子 (わくい ようこ)	
ねらい	You need to be good at all four skills (reading, writing, listening, and speaking) in order to improve your English ability. You will gain confidence in using English by polishing those four skills necessary for communication. Those who would like to be confident in using English are encouraged to register.		
授業計画	【前期】	【後期】	
	第1回 Introduction 第2回 Cinderella 第3回 Review 第4回 Harry Potter 第5回 Review 第6回 Kiki's Delivery Service 第7回 Review 第8回 Last Samurai 第9回 Review 第10回 My Neighbor, Totoro 第11回 Review 第12回 Patch Adams 第13回 Review 第14回 Preparation for presentations 第15回 Presentations	第1回 Roman Holidays 第2回 Review 第3回 The Phantom of the Opera 第4回 Review 第5回 The Sound of Music 第6回 Review 第7回 Titanic 第8回 Review 第9回 Westside Story 第10回 Review 第11回 Preparation for presentations 第12回 Research 第13回 Paper submission 第14回 Rehearsal 第15回 Presentations	
進め方	The class is student-centered and the teacher will facilitate learning. It will be possible for students to choose their favorite materials or topics. You will enjoy many kinds of films and music using DVD, VHS, and CD. The activities include games, role plays, small group discussions, debate, and mini-presentations.		
テキスト	There will be no set textbooks for this class. Most handouts will be provided by the teacher.	参考文献	It will be informed later in the course.
評価方法	Attendance :20% Presentation 1:15% Presentation 2:25% Homework:20% Attitude:20%		

フランス語 (初級)		通年 2 単位	1年
初級フランス語の習得		斎藤 協子 (さいとう きょうこ)	
ねらい	(1) フランス語の発音に慣れ、基本的な文法事項を習得し、(2) 辞書を活用して出来るだけ多くの易しいフランス語を読み、(3) ビデオを通して自然なフランス語に接することを目的とします。		
授業計画	【前期】	【後期】	
	第1回 クラスの紹介と授業の進め方・ビデオ 第2回 短い会話の暗誦・発音練習 第3回 名詞の性と数 第4回 不定冠詞 第5回 主語人称代名詞・動詞etre 第6回 動詞avoir 第7回 -er動詞 第8回 定冠詞・形容詞 第9回 所有形容詞 第10回 動詞aller・近接未来 第11回 動詞venir・近接過去 第12回 動詞faire/savoir・強勢形人称代名詞 第13回 非人称構文・時間の表し方 第14回 前期の総復習 第15回 前期定期試験	第1回 -ir動詞・部分冠詞 第2回 命令文 第3回 動詞mettre/pouvoir 第4回 直接目的人称代名詞 第5回 間接目的人称代名詞 第6回 複合過去形 (avoir) 第7回 複合過去形 (avoir) 第8回 複合過去形 (etre) 第9回 動詞devoir/voir 第10回 代名動詞 第11回 動詞partir/dire 第12回 半過去形 第13回 形容詞の比較級・最上級 第14回 後期の総復習 第15回 後期定期試験	
進め方	一年を通してビデオの映像と音声で自然なフランス語に触れ、必要事項の説明の後、口頭と筆記による練習を行い、宿題を確認し、授業の最後にその日に学習したことに関して小テストを行います。前期は短い会話を暗誦し、後期はテキスト以外にもフランス語を読む予定です。		
テキスト	安田悦子 Vite fait, bien fait! (白水社)	参考文献	辞書 (一時間目に説明)
評価方法	前期・後期試験:95% 小テスト・宿題:5%		

フランス語（初級）		通年 2 単位	1年
フランス語入門一言葉と生活		杉山 友一（すぎやま ゆういち）	
ねらい	まったく初めてフランス語を学習する人を対象とします。フランス人の日常生活を描いたテキストを通して、聞く力、読む力、自分で文を作る力の基礎を養うことを目指します。なるべく、フランス語検定の11月の試験で5級または4級を取得してほしいと思っています。		
授業計画	【前期】 第1回 辞書の紹介、フランス語の文字と発音、挨拶する 第2回 自己紹介一名前、国籍、職業（文法と発音） 第3回 名前、国籍、職業を言う（続、問題）、年齢と家族 第4回 年齢と家族（続） 第5回 好きなものを言う 第6回 好きなものを言う（続）、持ち物を言う 第7回 持ち物を言う（続） 第8回 友達について話す 第9回 友達について話す（続）、尋ねる 第10回 尋ねる（続） 第11回 近い未来、近い過去のことを話す 第12回 近い未来、近い過去のことを話す（続）、時間と天候 第13回 時間と天候の表現、試験範囲などの説明 第14回 時間と天候を表現する（続）、試験前の準備 第15回 試験	【後期】 第1回 前期試験の返却と解説 第2回 数量を表す 第3回 数量を表す（続）、紹介する 第4回 紹介する（続） 第5回 一日を語る 第6回 一日を語る（続）、頼む、命令する 第7回 頼む、命令する（続） 第8回 未来のことを語る 第9回 未来のことを語る（続）、過去のことを語るI 第10回 過去のことを語るI（続） 第11回 過去のことを語るII 第12回 過去のことを語るII（続）、人や物について語る 第13回 人や物について語る（続）、試験業になどの説明 第14回 比較する、試験前の準備 第15回 試験	
進め方	前期は自分で発音することを重視します。間違っても良いから自分で声を出しましょう。ネイティブスピードで読む練習を最初から行います。後期は作文の比重を増やします。必ず予習をすること。フランスやヨーロッパの文化に興味を持ってもらうため、ビデオを見る時間を可能な範囲で用意しますが、普段から各自で絵画展などに行くようにしてくだ		
テキスト	藤田裕二・藤田知子著『新・東京一パリ、初飛行』 駿河台出版社	参考文献	仏和辞典は必ず用意すること。参考書は必須ではありませんが、用意するほうが好ましい。いずれも最初の授業で紹介いたします。
評価方法	試験:50% 出席:40% 小テスト:10%		

フランス語（初級）		通年 2 単位	1年
フランス語入門一言葉と生活		鈴木 律子（すずき りつこ）	
ねらい	まったく初めてフランス語を学習する人を対象とする。フランス人の日常生活を描いたテキストを通して、聞く力、読む力、自分で文を作る力を養うことを目指す。		
授業計画	【前期】 第1回 辞書の紹介、フランス語の文字と発音、挨拶する 第2回 自己紹介一名前、国籍、職業（説明と読み） 第3回 名前、国籍、職業を言う（続：練習）、年齢と家族 第4回 年齢と家族（続） 第5回 好きなものを言う 第6回 好きなものを言う（続）、持ち物を言う 第7回 持ち物を言う（続） 第8回 友達について話す 第9回 友達について話す（続）、尋ねる 第10回 尋ねる（続） 第11回 近い未来、近い過去のことを話す 第12回 近い未来、近い過去のことを話す（続） 第13回 近い未来、近い過去のことを話す（続） 第14回 前期分の総合的復習 第15回 試験	【後期】 第1回 前期試験の返却と解説 第2回 時間天候を言う 第3回 時間天候を言う（続）、数量を表す 第4回 数量を表す（続） 第5回 紹介する 第6回 紹介する（続）、一日を語る 第7回 一日を語る（続） 第8回 頼む、命令する 第9回 頼む、命令する（続）、未来のことを語る 第10回 未来のことを語る（続） 第11回 過去のことを語るI 第12回 過去のことを語るI（続）、II 第13回 過去のことを語るII（続） 第14回 人や物について語る 第15回 試験	
進め方	前期は自分で発音することを重視する。間違っても良いから、自分で声を出すことが大切である。ネイティブのスピードで読む練習を早い時期から行う。後期は作文の比重を増やす。必ず予習をすること。フランスやヨーロッパの文化に興味を持ってもらうため、ビデオを見る時間を可能な範囲で用意するが、各自で絵画展などに行ってもらいたい。		
テキスト	藤田裕二・藤田知子著『新・東京一パリ、初飛行』駿河台出版社	参考文献	仏和辞典は必ず用意すること。参考書は必須ではないが、用意するほうが好ましい。いずれも最初の授業で紹介する。
評価方法	定期試験:80% 出席、授業中の発言:10% 小テスト:10%		

フランス語（初級）		通年 2 単位	1年
フランス語の基礎を学ぶ		檜垣 嗣子（ひがき つぎこ）	
ねらい	<ul style="list-style-type: none"> ・フランス語の音、綴り、文章構造に慣れ、基礎的な理解力をつける。 ・簡単な文章を作れるようにする。 		
授業計画	【前期】 第1回 ガイダンス / フランス語の発音とつづり字 第2回 第1課「それは何ですか？」 第3回 第2課「ボールの自転車です」 第4回 第3課「僕は学生です」 第5回 第4課「ボールは背が高い」 第6回 第5課「私は18歳です」 第7回 第6課「フランス語を話せますか？」 第8回 復習と補足 第9回 第7課「この雑誌はいくらですか？」 第10回 第8課「私のフィアンセです」 第11回 第9課「おいくつですか？」 第12回 第10課「あなたはついていますね！」 第13回 復習と補足 第14回 前期のまとめ 第15回 試験	【後期】 第1回 前期の復習 / 第11課「良いバカンスを過ごしましたか？」 第2回 第11課「良いバカンスを過ごしましたか？」 第3回 第12課「ショッピングに行ったのよ」 第4回 復習と補足 第5回 第13課「愛してるよ」 第6回 第14課「誰があなたにそれを言ったのですか？」 第7回 第15課「私はニコラ・ガルニエといいます」 第8回 第16課「今日はいい天気です」 第9回 第17課「当時私は10歳だった」 第10回 第18課「君の好きな女優は誰？」 第11回 復習と補足 第12回 第19課「いつ二十歳になるの？」 第13回 第20課「知らなかった」 第14回 後期のまとめ 第15回 試験	
進め方	発音練習やフランス語での受け答え、質問など、授業中は積極的に声を出して参加してもらう。新しい言葉を学ぶには、習ったことをその都度確実に身につけていく必要があるため、復習を欠かさないこと。前回の内容について小テストをおこない、宿題の提出を求める。		
テキスト	佐藤久美子・佐藤領時著『アベセデ フランセ』（白水社）	参考文献	授業時に紹介。 仏和辞典の購入については初回にアドバイスする。
評価方法	小テストと提出物:40% 試験:60%		

フランス語（初級）		通年 2 単位	1年
フランス語の初歩を学ぶ		二川 佳巳（ふたがわ よしみ）	
ねらい	発音の練習から始めて、フランス語の文法の規則や日常表現などを学び、やさしいフランス語の文が理解できるようにする。また、言葉の背景にあるフランスの文化についても理解を深めたい。必要に応じて英語と比較しながら授業を進めるので、客観的に英語を見つめ直し理解を深める機会ともしたい。		
授業計画	【前期】 第1回 イントロダクション 第2回 挨拶する 第3回 発音と綴り字 第4回 名前、国籍、職業 第5回 主語人称代名詞、動詞etre 第6回 年齢、家族 第7回 名詞の性と数、動詞avoir 第8回 好きなものを言う 第9回 定冠詞、第一群規則動詞 第10回 持ち物を言う 第11回 所有形容詞 第12回 友達について話す 第13回 形容詞の女性形と複数形 第14回 まとめと復習 第15回 前期試験	【後期】 第1回 尋ねる 第2回 疑問詞 第3回 近い未来、近い過去 第4回 冠詞の縮約、動詞aller, venir 第5回 時間、天候 第6回 非人称構文 第7回 数量表現 第8回 部分冠詞 第9回 紹介する 第10回 補語人称代名詞 第11回 一日を語る 第12回 代名動詞 第13回 命令法 第14回 まとめと復習 第15回 後期試験	
進め方	教科書の文法事項の説明とそれに関する練習問題、簡単な訳読が中心となる。必要に応じて動詞の活用のチェックをし、プリントで練習問題を補なう。ゆっくり進むので、疑問点があれば積極的に質問してもらいたい。		
テキスト	藤田裕二ほか著『新・東京一パリ、初飛行』（駿河台出版社）	参考文献	初回の授業で指示する。
評価方法	定期試験（前・後期）:70% 出席:15% 平常点:15%		

フランス語（初級）		通年 2 単位	1年
フランス語による意思疎通		横田 里子（よこた さとこ）	
ねらい	初級文法を習得し、日常よく使われる単語・言い回しを出来るだけ多く覚える。その際、「読む」、「書く」、「話す」、「聞く」という四つの言語能力をバランスよく養い、総合的に言葉を捉える訓練をする。また、発音練習を通して、フランス語の音のしくみを身につける。		
授業計画	【前期】 第1回 アルファベを発音する。 第2回 挨拶する。 第3回 名前を言う。 第4回 国籍を言う。 第5回 職業を言う。 第6回 年齢を言う。 第7回 家族を語る。 第8回 好きなものを言う。(I) 第9回 好きなものを言う。(II) 第10回 持ち物を言う。 第11回 友達について話す。 第12回 尋ねる。 第13回 今までの復習。 第14回 練習問題 第15回 質疑応答	【後期】 第1回 近い未来のことを語る。(I) 第2回 近い未来のことを語る。(II) 第3回 近い過去のことを語る。(I) 第4回 近い過去のことを語る。(II) 第5回 時間を言う。 第6回 天候を言う。 第7回 数量を表わす。 第8回 紹介する。(I) 第9回 紹介する。(II) 第10回 一日を語る。(I) 第11回 一日を語る。(II) 第12回 頼む、命令する(I) 第13回 頼む、命令する(II) 第14回 未来のことを語る(I) 第15回 未来のことを語る(II)	
進め方	新しい文法事項の説明をした後、例文の解釈と発音練習にうつる。まとめとして、練習問題をする。		
テキスト	佐藤久美子・佐藤領時著「アベセデフランセ」白水社	参考文献	授業中に適宜指導する。
評価方法	定期試験:60% 授業への参加度:30% 出席:10%		

ドイツ語（初級）		通年 2 単位	1年
ドイツ語入門		大谷 美奈（おおたに みな）	
ねらい	ドイツ人留学生と日本人女子学生を主人公にした身近な場面での会話中心に進行するテキストを使って、ドイツ語の日常的な表現や基本的な文法の初歩を習得することをめざします。		
授業計画	【前期】 第1回 ガイダンス・アルファベット 第2回 発音 第3回 「挨拶」 第4回 動詞 第5回 語順 第6回 「飲食」 第7回 名詞 第8回 冠詞 第9回 「紹介」 第10回 前置詞 第11回 代名詞 第12回 不規則変化動詞 第13回 「散策」 第14回 冠詞類 第15回 試験	【後期】 第1回 不規則変化動詞 第2回 命令文 第3回 「旅行」 第4回 話法の助動詞 第5回 形容詞 第6回 複数形 第7回 数詞 第8回 「旅行の思い出」 第9回 過去形・現在完了形 第10回 手紙・メール 第11回 「買い物」 第12回 「招待」 第13回 日付・時刻 第14回 「出発」 第15回 試験	
進め方	テキストに沿って進め、各場面でてきた表現を参考に、自分のことをドイツ語で表現する練習をします。文法項目は説明、確認しますが、別冊として詳しい『文法ノート』が付いています。聞き取り練習もする予定です。テキストにCDが付いているので、予習、復習に活用してください。		
テキスト	『はじめようドイツ語』Elisabeth Schmidt・須澤通・浜泰子（郁文堂）	参考文献	辞書について最初の時間に紹介します。必ず毎時間教室に持参して下さい。
評価方法	試験:40% 平常点:30% 課題提出状況:30%		

スペイン語（初級）		通年 2 単位	1年
スペイン語で話してみよう！		フローレス（FLORES, H. A.）	
ねらい	基本的な会話表現を目指す。スペイン語の発音は日本人にとって比較的親しみやすい。リスニング・反復練習によってスペイン語の発音に慣れ、スペイン語によるコミュニケーションがはかれることを可能にしたい。		
授業計画	【前期】 第1回 スペイン語のアルファベット及び基本的な発音 第2回 色々な挨拶や感謝の表現（基本表現1-3） 第3回 様子をたずねる・謝罪と呼びかけ・動詞ser（4-6） 第4回 動詞estar・肯定、否定の返事（7-8） 第5回 名詞の性・数と不定・肯定冠詞（9-10） 第6回 電話の表現、動詞tenerの用法（11-12） 第7回 動詞tenerと“hay”を使った表現（12-13） 第8回 “hay”を使った表現と数字（13-14） 第9回 数字、日付・曜日を表し方（14-15） 第10回 日付・曜日及び時刻の表し方（15-16） 第11回 疑問と否定（日常会話1） 第12回 形容詞の性と数（2） 第13回 形容詞の基本的な用法（2） 第14回 全体的な復習 第15回 試験	【後期】 第1回 指示代名詞/指示形容詞（3） 第2回 所有形容詞（4） 第3回 規則動詞の変化①～arの活用（5） 第4回 規則動詞の変化2②～er, ～irの活用（6） 第5回 不規則動詞の変化① ir, venirの活用（7） 第6回 不規則動詞の変化② dar, traerの活用（8） 第7回 不規則動詞の変化③ saber, conocer.（9） 第8回 不規則動詞の変化④ querer.（10） 第9回 疑問詞，“～しなければならない”（11-12） 第10回 “～しなければならない”，補語代名詞1（12-13） 第11回 補語代名詞①及び②（13-14） 第12回 補語代名詞①及び②や前置詞1（14-15） 第13回 前置詞①及び前置詞句（15） 第14回 全体的な復習 第15回 試験	
進め方	授業計画に沿って授業を進めるが、時間やその他の条件によって、臨機応変に対応し学生と教師との対話をはかりつつ、授業を進める。		
テキスト	「CDレッスン 驚くほど身につくスペイン語」 Luis Cebollada+山崎佳世【共著】（高橋書店）。	参考文献	まずは「西和辞典」（研究社、小学館、白水社、等）を用意して欲しい。
評価方法	定期試験:60% 授業への積極的参加:20% 宿題:20%		

スペイン語（初級）		通年 2 単位	1年
スペイン語の基礎を習得して、表現しよう！		廣田 拓（ひろた たく）	
ねらい	①スペイン語の初級文法及び簡単な会話表現を習得する。 ②スペイン語圏の文化・日常生活を理解する。 ③スペイン語で自己表現する。		
授業計画	【前期】 第1回 ガイダンス、アルファベット、発音 第2回 文字、発音・アクセントの規則 第3回 簡単な挨拶の表現、名詞・形容詞 第4回 冠詞、主語人称代名詞、文の作り方 第5回 動詞serの用法 第6回 動詞estarの用法 第7回 所有形容詞、動詞serとestarの比較 第8回 基数、指示代名詞、指示形容詞 第9回 動詞hay, tener, irの用法 第10回 規則動詞～arの用法 第11回 規則動詞～erの用法 第12回 規則動詞～irの用法 第13回 規則動詞を使った表現 第14回 まとめと復習 第15回 期末試験	【後期】 第1回 復習：動詞ser, estar, hayの用法 第2回 復習：動詞tener, irの用法と規則動詞の表現 第3回 動詞dar, verの用法 第4回 動詞conocer, saberの用法 第5回 動詞poder, quererの用法 第6回 疑問詞の用法と表現、前置詞の用法 第7回 曜日と日付の表現 第8回 間接目的語になる人称代名詞の用法 第9回 直接目的語になる人称代名詞の用法 第10回 動詞gustarの用法と表現、gustar型の動詞の用法 第11回 不規則動詞の用法（1）、時間の表現 第12回 不規則動詞の用法（2） 第13回 不規則動詞を使った表現 第14回 まとめと復習 第15回 期末試験	
進め方	基本的にはプリントとテキストを活用して、授業計画に沿って授業を進める。毎回、重要な文法事項を説明し、その後、例文や会話表現を音読し、反復練習を行う。リスニングは、CDやDVD教材を用いる。小テストや宿題で文章を作る練習をする。		
テキスト	「文法から学べるスペイン語」井戸光子・石村あつ、ナツメ社	参考文献	辞書及び参考文献については、ガイダンスの際に説明します。授業では西和辞典を用意してもらいます。
評価方法	期末試験:50% 小テスト・宿題:30% 出席状況:20%		

中国語（初級）		通年 2 単位	1年
はじめの中国語		孔 令敬（こう れいけい）	
ねらい	中国語を初めて学習する履習生のための入門講座である。中国語の確固とした土台を築き、実用的な中国語の習得への更なる向上を旨と第一歩を踏み出す。		
授業計画	【前期】 第1回 中国語とはなにか 中国語のアルファベット 第2回 発音 声調 第3回 発音 母音 その1 第4回 発音 母音 その2 第5回 発音 子音 中国語ローマ字の綴り方の規則 第6回 発音の総合練習 第7回 第一課 第8回 第二課 第9回 第三課 第10回 総合練習 第11回 第五課 第12回 第六課 第13回 第七課 第14回 総合練習 第15回 第八課	【後期】 第1回 第九課 第2回 第十課 第3回 総合練習 第4回 第十一課 第5回 第十二課 第6回 第十三課 第7回 総合練習 第8回 第十四課 第9回 第十五課 第10回 第十六課 第11回 総合練習 第12回 第十七課 第13回 第十八課 第14回 第十九課 第15回 総合練習	
進め方	解釈と練習を平行して進める。発音の要領や基本文型についての説明を行った上で、作文や発音・置き換えなどの練習を行う。毎回自習用のプリントを配布して学習の効果を高める。		
テキスト	白帝社・『中国語初級表現一文型・文法を基礎に一』を使う。	参考文献	『中日・日中学習辞典』・中国文化出版センター。また『中日辞典』・講談社。
評価方法	平常点（出席点）と受講姿勢:50% 前後二期の試験:50%		

中国語（初級）		通年 2 単位	1年
中国語で簡単な会話をする		本間 由香利（ほんま ゆかり）	
ねらい	前期は発音練習を重視し、単語単位ではなく文章を「中国語らしく」読めるよう訓練します。次に、必要最小限の文法を学び、シンプルな文を自分で組み立てられるようになることを目指します。後期は、前期に学んだ文法事項の理解と反復練習を通じて、自分のこと、身の回りの事柄について、簡単な中国語で会話ができるようになることを目標とします		
授業計画	【前期】 第1回 私達が学ぶ「中国語」とは 第2回 中国語の発音記号 第3回 中国語の発音・復習 第4回 中国語の発音・復習 第5回 第1課 第6回 前回の復習と練習問題 第7回 第2課 第8回 前回の復習と練習問題 第9回 第3課 第10回 前回の復習と練習問題 第11回 第4課 第12回 前回の復習と練習問題 第13回 第5課 第14回 前回の復習と練習問題 第15回 期末テスト	【後期】 第1回 第6課 第2回 前回の復習と練習問題 第3回 第7課 第4回 前回の復習と練習問題 第5回 第8課 第6回 前回の復習と練習問題 第7回 第9課 第8回 前回の復習と練習問題 第9回 第10課 第10回 前回の復習と練習問題 第11回 第11課 第12回 前回の復習と練習問題 第13回 第12課 第14回 前回の復習と練習問題 第15回 期末テスト	
進め方	比較的簡単なテキストを用いてゆっくりと授業を進めます。次々に新しい事を学ぶのではなく、十分に理解した上で反復訓練を行なうことを中心にします。学生諸君には大きな声で発音すること、進んで質問すること等、積極的に授業に参加して頂くことを期待します。また第三の言語を学び、日本語・英語を見る別の視線を身につける事にも配慮します		
テキスト	『始めよう！中国語』南雲智・趙暉（白水社）	参考文献	授業内で指示します
評価方法	出席:30% 平常点（授業態度）:30% 試験:40%		

中国語（初級）		通年 2 単位	1年 国文・家政
中国語を学ぶステップ・ワン		劉 書明（りゅう しよめい）	
ねらい	初めて中国語と接する初心者にその基本知識を教える。今後、中国人と交流出来る実用目的を前提に、中国語と親しんでもらう。		
授業計画	【前期】 第1回 発音1 第2回 発音2 第3回 発音3 第4回 発音4 第5回 発音の自己チェック・復習1 第6回 小テスト1 第7回 空港① 第8回 空港②、隣に① 第9回 隣に②、チェックイン① 第10回 チェックイン②、はい、チーズ!① 第11回 はい、チーズ!②、何年生まれ?① 第12回 何年生まれ?②、故宮① 第13回 故宮②、復習2 第14回 小テスト2 第15回 中間テスト	【後期】 第1回 遊園地① 第2回 遊園地②、北京の朝① 第3回 北京の朝②、プレゼント① 第4回 プレゼント②、北京動物園① 第5回 北京動物園②、北京ダック① 第6回 北京ダック②、サッカー観戦① 第7回 サッカー観戦②、復習3 第8回 小テスト3 第9回 プールサイド① 第10回 プールサイド②、お医者さん① 第11回 お医者さん②、月の夜① 第12回 月の夜②、上海へ① 第13回 上海へ②、複数4 第14回 小テスト4 第15回 期末テスト	
進め方	教材を中心に、発音、文字（略字）、文法、文型の解釈から入り、応用練習、小テストを併用して展開する。同時に、基本文法、基本文型を応用する中日、日中対訳の指導も実行する。		
テキスト	主に『恋をする莎莎』（朝日出版社）を使用し、補助教材として随時にコピーを配布する。	参考文献	『中日辞典』（講談社）、『中日辞典』『日中辞典』（小学館）等。
評価方法	出席:30% 練習:30% テスト:40%		

中国語（初級）		通年 2 単位	1年 英文
中国語を学ぶステップワン		劉 書明（りゅう しよめい）	
ねらい	初めて中国語と接する初心者に、その基本知識を教える。今後、中国人と交流できる実用目的を前提に、中国語と親しんでもらう。		
授業計画	【前期】 第1回 発音1 第2回 発音2 第3回 発音3 第4回 発音4 第5回 発音5 第6回 復習1、小テスト1 第7回 これはあなたの本ですか 第8回 日本語は難しいですか 第9回 お昼一緒に食べましょう 第10回 家族は何人ですか 第11回 復習2、小テスト2 第12回 お家はどこですか 第13回 ユニット1まとめ・総合練習 第14回 総合復習 第15回 中間テスト	【後期】 第1回 夏休みはどうするつもりですか 第2回 私は中村駅につきました 第3回 お誕生日、おめでとう 第4回 中国人の友達に手紙を書く 第5回 復習3、小テスト3 第6回 テニスを教えてくれますか 第7回 ユニット2まとめ・総合練習 第8回 テニスは上手ですね 第9回 明日、また雪ですか 第10回 復習4、小テスト4 第11回 元旦はどう過ごしますか 第12回 中国語の勉強はどうですか 第13回 高橋さんは王燕さんに手紙を書く 第14回 総合復習 第15回 期末テスト	
進め方	教材を中心に、発音、文字（中国語略字）、文法、文型等の解釈を始め、応用練習、小テストを併用して展開する。同時に、基本文法、基本文型を応用する中日、日中対訳の指導も実行する。		
テキスト	主に『話したくなる中国語』（朝日出版）を使用し、補助教材としてコピーを配布する。	参考文献	『中日辞典』（講談社）、『中日辞典』『日中辞典』（小学館）等。
評価方法	出席:30% 練習:30% テスト:40%		

中国語（初級）		通年 2 単位	1年 教養・芸術・子ども
中国語を学ぶステップワン		劉 書明（りゅう しよめい）	
ねらい	初めて中国語と接する初心者に、その基本知識を教える。今後、中国人と交流できる実用目的を前提に、中国語と親しんでもらう。		
授業計画	<p>【前期】</p> 第1回 発音1 第2回 発音2 第3回 発音3 第4回 発音4 第5回 復習1、小テスト1 第6回 始めまして① 第7回 始めまして2、ごめんなさい① 第8回 ごめんなさい②、おじゃまします① 第9回 おじゃまします②、勉強が大変① 第10回 勉強が大変②、おいくつですか① 第11回 おいくつですか②、お名前は① 第12回 お名前は②、ご両親はどんなお仕事をしていますか① 第13回 ご両親はどんなお仕事をしていますか② 第14回 復習2、小テスト2 第15回 中間テスト	<p>【後期】</p> 第1回 自己紹介① 第2回 自己紹介②、東方デパートはどう行きますか① 第3回 東方デパートはどう行きますか②、少し安く出来ますか① 第4回 少し安く出来ますか②、水餃子を一斤下さい① 第5回 水餃子を一斤下さい②、佐藤君の一日① 第6回 佐藤君の一日②、 第7回 復習3、小テスト3 第8回 カラオケ① 第9回 カラオケ②、電話をかける① 第10回 電話をかける②、一つ頼みたいことがあります① 第11回 一つ頼みたいことがあります②、佐藤茂さんと陳芳さん① 第12回 佐藤茂さんと陳芳さん② 第13回 復習4、小テスト4 第14回 総合復習 第15回 期末テスト	
進め方	教材を中心に、発音、文字（中国語略字）、文法、句型等の解釈を始め、応用練習、小テストを併用して展開する。同時に、基本文法、基本句型を応用する中日、日中対訳の指導も実行する。		
テキスト	主に『語学三十六景』（東方書店）を使用し、補助教材としてコピーを配布する。	参考文献	『中日辞典』（講談社）、『中日辞典』、『日中辞典』（小学館）等。
評価方法	出席:30% 練習:30% テスト:40%		

韓国語（初級）		通年 2 単位	1年
韓国語と韓国の文化、社会		川村 受映（かわむら じゅえい）	
ねらい	この講座では、韓国語の基礎をマスターすることを目的とする。韓国語の読み書きをはじめ、文章の作り方など基本的な文法を指導するが、全体的に会話に重点を置く。なお、韓国関係のビデオや映画などを用いることで、韓国の現代社会や文化にもふれる。インターネットを活用して授業を進めると同時にコンピュータでハングルのやり取りができるようにする。		
授業計画	<p>【前期】</p> 第1回 授業オリエンテーション、第1課 第2回 第2課 第3回 第3課 第4回 第4課 第5回 第5課 第6回 第6課 第7回 第7課 第8回 第8課 第9回 第9課 第10回 第10課 第11回 第11課 第12回 第12課 第13回 第13課 第14回 第14課 第15回 第15課	<p>【後期】</p> 第1回 第16課 第2回 第16課 第3回 第17課 第4回 第17課 第5回 第18課 第6回 第18課 第7回 第19課 第8回 第19課 第9回 第20課 第10回 第20課 第11回 第21課 第12回 第21課 第13回 第22課 第14回 第22課 第15回 試験	
進め方	教科書に沿ってすすめる		
テキスト	『書いて覚える初級朝鮮語』白水社 高島 淑郎	参考文献	授業中紹介する。
評価方法	平常点:30% 中間発表:30% 期末テスト:40%		

韓国語（初級）		通年 2 単位	1年
韓国語の発音・日常会話と文化、書いて覚える韓国語		金 元恵（きむ うおんへ）	
ねらい	言葉はコミュニケーション及びその国の文化理解のために大切な手段です。いちばん近い外国である韓国の言葉を楽しい音楽を聴くように聞き、歌うように話しながら身につけて新しい世界を発見することを目指す。		
授業計画	<p>【前期】</p> 第1回 ハングルの由来と文化 第2回 文字について、母音について、単語の発音と書く練習 第3回 文字について、子音について、単語の発音と書く練習 第4回 文字について、濃音について、単語の発音と書く練習 第5回 文字について、終声（パッチム）の練習 第6回 日常生活の基本的な単語の意味と発音練習（TESTのため） 第7回 自己紹介の文をつくる 発音の練習（発表のため） 第8回 基本的な文法を習得① 単文づくりを学ぶ 第9回 基本的な文法を習得② 単文づくりを学ぶ 第10回 単語TEST、自己紹介の練習 第11回 日韓合作ドラマ「friend」感想 第12回 “ ” 第13回 ビデオに出て来る韓国の文化を学ぶ 第14回 自己紹介の発表TEST 第15回 自己紹介の発表と日・韓合作ドラマの感想文の提出	<p>【後期】</p> 第1回 発音の復習 第2回 基本的な文法を習得③ 単文づくりを学ぶ 第3回 基本的な文法を習得④ 単文づくりを学ぶ 第4回 テキストに従ってpointとなる日常会話を学ぶ① 第5回 “ ” ② 第6回 “ ” ③ 第7回 “ ” ④ 第8回 日常生活の基本的な形容詞の意味と発音（TESTのため） 第9回 形容詞の発音と単文づくりを学ぶ 第10回 日韓合作ドラマ「ソナギ」感想 第11回 “ ” ドラマに出る韓国文化を学ぶ 第12回 動詞の語幹にどんな語尾がつながるか①（手紙を書くため） 第13回 “ ” ②（ “ ” ） 第14回 形容詞のTEST 手紙の書き方 第15回 韓国のお正月の話、かえるの物語、お料理の紹介	
進め方	テキストが中心となります。毎回練習問題を宿題として出します。同時にテキストの以外の物も多く学びます。充分練習した自己紹介を発表することによって自信を持たせます。「Friends」ビデオは感想文を書きます。（日本語で）最終的には多くの単語を使ってまた語尾の変化に従って自由テーマに手紙を書くことを目指します。		
テキスト	「韓国語の初歩」白水社 著者：厳基珠 金三順 金天鶴 甲鉉竣 吉川知文	参考文献	特に定めず授業時に紹介する。
評価方法	試験:50% 出席:25% 宿題:25%		

韓国語（初級）		通年 2 単位	1年
韓国語の読み書き・聞き取り・会話に慣れるために		崔 昌玉（ちえ ちゃんおく）	
ねらい	本授業の目的は学生諸君に韓国語の文字・発音・文における用言や体言の現れ方・よく使われる韓国語の表現等を教授することにある。本授業では、これらのことを総合的に学ぶことで、学生諸君が韓国語の読み書き・聞き取り・会話にも慣れるものと考えている。また、本授業では日本語や英語との比較を通じて、韓国語を教授することも考えている。		
授業計画	<p>【前期】</p> 第1回 韓国語とはどんな言語か(他言語との比較)、アンケート 第2回 第1課：母音(基本母音、一部の合成母音) 第3回 第2課：基本子音(平音)と半母音 第4回 第3課：基本子音(激音、濃音) 第5回 第3課：合成母音 第6回 第4課：終声 第7回 第1課～第4課：文字と発音の復習 第8回 第5課：音声変化(1) 第9回 第5課：音声変化(2) 第10回 第6課：名詞文の平叙と疑問 第11回 第6課：格助詞「～は」「～の」 第12回 第7課：名詞文の否定と格助詞「～が」 第13回 第7課：指示詞 第14回 第8課：用言の活用 第15回 試験	<p>【後期】</p> 第1回 前期の復習と映画鑑賞 第2回 第8課：格助詞「～を」「～も」「～に」 第3回 第9課：数詞(漢数詞) 第4回 第9課：格助詞「～と」 第5回 第10課：数詞(固有数詞) 第6回 第10課：時刻や順番の表し方 第7回 第11課：語幹①、語幹②、語幹③の作り方 第8回 第11課：意志等を表す接尾辞 第9回 第12課：縮約形の作り方 第10回 第12課：格助詞「～で」 第11回 第13課：位置名詞 第12回 第13課：格助詞「～から」「～で」 第13回 第14課：過去形の作り方 第14回 今までの復習 第15回 試験	
進め方	講義が中心となるが、(韓国の音楽や映画などの)音声資料を聞くことにより、本場の韓国語に慣れてもらう。言語習得には個々人のトレーニングが必要であるので、様々な問題を解いてもらい、実際に声に出して読み、韓国語の理解度を深めてもらう。その方法には、2人ずつにペアを分け、会話の練習をすることも含まれる。		
テキスト	浜之上幸監修(2008)『楽しく学ぶハングル1』東京：白帝社。	参考文献	金順玉・阪堂千津子(2004)『チャレンジ!韓国語』東京：白水社。 菅野裕臣(2007)『朝鮮語の入門(改訂版)』東京：白水
評価方法	出席:40% 小テスト:20% 期末試験:40%		

英語Ⅴ (Reading)		通年 2 単位	1・2・3年
食文化のルーツを探る		矢部 寿美子 (やべ すみこ)	
ねらい	この授業では、異文化を理解する上では欠かせない「食」に焦点を当て、世界の食文化の違い・類似性・特性を探る。その背景にある民族の歴史や風土、宗教なども考え、食のタブーや決まりごとの「なぜ」にまで踏み込む。「英語を学ぶ」ことに留まらず、「英語で」情報を得、理解を深め、自己発信できる基礎力を確立することを目的とする。		
授業計画	<p>【前期】</p> <p>第1回 Introduction</p> <p>第2回 The Jewish dietary laws ユダヤ人の食タブー</p> <p>第3回 Why Muslims do not eat pork イスラム教がブタを拒否するわけ</p> <p>第4回 Christianity apart from food taboos キリスト教の食事</p> <p>第5回 The meat and drink taboos of Buddhism 仏教の肉・飲酒タブー</p> <p>第6回 プリント／映画</p> <p>第7回 テスト</p> <p>第8回 The whaling nations 捕鯨の是非</p> <p>第9回 Fish eating 魚を食べる</p> <p>第10回 Eel -the mystery fish ウナギはどこから？</p> <p>第11回 Eating dog meat 犬肉を食べる文化・食べない文化</p> <p>第12回 Eating sheep 羊を食す文化</p> <p>第13回 プリント</p> <p>第14回 映画</p> <p>第15回 テスト</p>	<p>【後期】</p> <p>第1回 Eating raw meat 生肉を食す</p> <p>第2回 Snails エスカルゴが途上国の食べ物だったら？</p> <p>第3回 Egg - eat raw eggs in Japan 生卵は日本料理？</p> <p>第4回 Shabushabu and Fondue しゃぶしゃぶとフォンデュ</p> <p>第5回 Sukiyaki and Gyudon すき焼きと牛丼</p> <p>第6回 映画</p> <p>第7回 テスト</p> <p>第8回 プリント</p> <p>第9回 Toast, Skoal, and Kanpai 1リットルジョッキの飲み方</p> <p>第10回 Wine ワインを飲む</p> <p>第11回 Chocolate and cacao チョコレート</p> <p>第12回 Vegetables 野菜はどこから？</p> <p>第13回 プリント</p> <p>第14回 映画</p> <p>第15回 テスト</p>	
進め方	毎回一つのテーマを扱う。リーディングとその解説が中心となるが、毎回の授業で映像を使用し、学生が各自、コンピュータで関連情報を英語で調べる時間をも設ける。毎回授業の始めに単語クイズをする。		
テキスト	大橋久利, Blake Baxter. <i>The East and the west in Dietary Culture</i> 食文化で知る東洋、西洋. Seibido. 2005. 1,800円 (税別)	参考文献	
評価方法	単語クイズ:30% テスト:70%		

英語Ⅵ (Writing)		通年 2 単位	1・2・3年
Communicative Writing		吉田 裕子・リナ (よしだ ひろこ りな)	
ねらい	This course will focus on the development of practical writing skills. The two main goals of this course is 1) to promote fluency in writing, and 2) to provide language models that will be directly relevant to students' real needs. Please note that this class will be conducted in English.		
授業計画	<p>【前期】</p> <p>第1回 Class orientation</p> <p>第2回 Introduction to writing email messages</p> <p>第3回 Email writing: introducing</p> <p>第4回 Email writing: thanking</p> <p>第5回 Email writing: requesting information</p> <p>第6回 Email writing: inviting</p> <p>第7回 Email writing: formal and informal messages</p> <p>第8回 Email writing: formal and informal messages</p> <p>第9回 Introduction to paragraph writing</p> <p>第10回 Paragraph writing: Topic sentence</p> <p>第11回 Paragraph writing: Main idea</p> <p>第12回 Paragraph writing: Supporting sentences</p> <p>第13回 Timed paragraph writing</p> <p>第14回 Review & feedback session</p> <p>第15回 Timed paragraph writing</p>	<p>【後期】</p> <p>第1回 Review session: Paragraph writing</p> <p>第2回 Paragraph writing: Topic #1</p> <p>第3回 Paragraph writing: Topic #2</p> <p>第4回 Paragraph writing: Topic #3</p> <p>第5回 Paragraph writing: Topic #4</p> <p>第6回 Paragraph writing: Topic #5</p> <p>第7回 Introduction to essay writing</p> <p>第8回 5-paragraph essay writing</p> <p>第9回 5-paragraph essay writing (continued)</p> <p>第10回 5-paragraph essay writing (continued)</p> <p>第11回 5-paragraph essay writing (continued)</p> <p>第12回 Narrative writing</p> <p>第13回 Narrative writing (continued)</p> <p>第14回 Narrative writing (continued)</p> <p>第15回 Review & feedback session</p>	
進め方	In the spring semester, we will be writing various email messages (formal & informal) in a variety of context. Then we will go on to the basics of paragraph writing. In the autumn semester, we will continue on writing paragraphs on different topics, and practice narrative writing.		
テキスト	Information will be given in class.	参考文献	Information will be given in class.
評価方法	Email exchanges:20% Written assignments:40% Attendance:20% Effort & Attitude:20%		

英語Ⅶ(Listening)		通年 2 単位	1・2・3年
ニュースと映画のリスニング		黒岩 裕 (くろいわ ゆたか)	
ねらい	英語のニュースと映画を使ってリスニング能力を高めることが主なねらいです。同時に、ニュースや映画のスク립トで内容を確認しながら読解能力を養い、時事英語と日常生活に必要な語彙や表現も身につけます。		
授業計画	【前期】 第1回 リスニングの学習方法について1 第2回 CNN 1 第3回 CNN 2 第4回 映画1 第5回 CNN 3 第6回 CNN 4 第7回 映画2 第8回 CNN 5 第9回 CNN 6 第10回 映画3 第11回 CNN 7 第12回 CNN 8 第13回 映画4 第14回 CNN 9 第15回 前期試験	【後期】 第1回 リスニングの学習方法について2 第2回 第2回から第14回までは、前期と同じ。 第3回 第4回 第5回 第6回 第7回 第8回 第9回 第10回 第11回 第12回 第13回 第14回 第15回 後期試験	
進め方	毎回、英語のニュースや映画を使って、穴埋めやその他の形式でのリスニング、スク립トの内容確認、語彙・表現・文法の解説、背景知識や関連知識の説明などを行います。既習事項の確認のため、適宜小テストも行います。		
テキスト	English for the Global Age with CNN Vo.10	参考文献	適宜紹介します。
評価方法	出席:10% 小テスト:10% 前期試験:40% 後期試験:40%		

英語Ⅷ (Oral Communication)		通年 2 単位	1・2・3年
Developing oral communication skills through presentations in English		プラット (PLATT, I.R.)	
ねらい	The aims of the course are: a) to develop students' self-confidence and English fluency in talking to people, b) to be able to organize ideas and language in order to communicate, c) to tailor public speaking to audience, topic and purpose via basic presentation skills.		
授業計画	【前期】 第1回 Introduction, Speaking to people: What do we know? 第2回 Different messages: Physical 1 第3回 Different messages: Physical 2 第4回 Different messages: Physical 3 第5回 Different messages: Performances 第6回 Different messages: Visual 1 第7回 Different messages: Visual 2 第8回 Different messages: Visual 3 第9回 Different messages: Performances 第10回 Different messages: Story 1 第11回 Different messages: Story 2 第12回 Different messages: Story 3 第13回 Different messages: Performances 第14回 Performances 第15回 Performances	【後期】 第1回 Informative speech: Topic 1 第2回 Informative speech: Topic 1 第3回 Informative speech: Topic 1 第4回 Informative speech: Topic 2 第5回 Informative speech: Topic 2 第6回 Informative speech: Topic 2 第7回 Comparative speech: Topic 1 第8回 Comparative speech: Topic 1 第9回 Comparative speech: Topic 1 第10回 Comparative speech: Topic 2 第11回 Comparative speech: Topic 2 第12回 Comparative speech: Topic 2 第13回 Final Performances 第14回 Final Performances 第15回 Final Performances	
進め方	Techniques of talking to people in a more-than-conversational way will be examined and practised in class. Students will develop individual presentations as homework, present in class, receive feedback from classmates, and develop active listening/critical analysis skills.		
テキスト	David Harrington and Charles LeBeau. "Speaking of Speech" (New Edition, 2009) (DVD included). Macmillan Language House ISBN978-4-7773-6271-4.	参考文献	
評価方法	Class participation:30% Work done outside class:30% Performances in class:40%		

英語Ⅹ (English for TOEIC)		通年 2 単位	1・2・3年
基本的文法の復習を中心としたTOEIC対策演習		江連 和章 (えづれ かずあき)	
ねらい	Listening、語彙、Readingを含めて、TOEICテスト全般の対策演習授業ですが、特に、基本的文法の復習に焦点を当てます。TOEICに限らず、総合的英語能力の基盤を修得することを目的とします。		
授業計画	<p>【前期】</p> 第1回 授業の進め方、テキスト等の紹介 第2回 Ch.1 (1) At an Airport --- 基本文型 第3回 Ch.1 (2) At an Airport --- 基本文型 第4回 Ch.2 (1) At a Hotel --- 修飾 第5回 Ch.2 (2) At a Hotel --- 修飾 第6回 Ch.3 On the Street --- 文と文の接続 第7回 Ch.4 At a Restaurant --- 知覚動詞と使役動詞 第8回 Ch.5 Shopping --- 助動詞 第9回 Ch.6 At a Bank --- 助動詞と「助動詞+完了形」 第10回 Ch.7 (1) Taking a Trip --- 時制 第11回 Ch.7 (2) Taking a Trip --- 時制 第12回 Ch.8 Seeing the Doctor --- 完了形 第13回 Ch.9 Renting an Apartment --- 前置詞 第14回 前期のまとめ 第15回 定期試験	<p>【後期】</p> 第1回 Ch.10 Sports --- 不定詞 第2回 Ch.11 Job Hunting --- 仮定法 第3回 Ch.12 Talking on the Phone --- 仮定法 第4回 Ch.13 Appointments --- 受動態 第5回 Ch.14 (1) Giving a Presentation --- 動名詞と分詞構文 第6回 Ch.14 (2) Giving a Presentation --- 動名詞と分詞構文 第7回 Ch.15 (1) Negotiating --- 関係代名詞 第8回 Ch.15 (2) Negotiating --- 関係代名詞 第9回 Ch.16 Meetings --- 関係副詞 第10回 Ch.17 Business Performance --- 比較 第11回 Ch.18 Dealing with Complaints --- 名詞と冠詞 第12回 Ch.19 Market Trends --- 注意すべき名詞と数量形容詞 第13回 Ch.20 Parties --- 強調構文と倒置 第14回 後期のまとめ、全体のまとめ 第15回 定期試験	
進め方	講義と演習が中心となります。テキスト以外にも補足資料を使用する予定です。受講生の積極的な授業参加を期待します。		
テキスト	松岡昇著『Kick Off for the TOEIC Test』金星堂	参考文献	授業中に紹介します。
評価方法	出席:25% 授業への参加度:15% 定期試験:60%		

フランス語Ⅰ (初級)		通年 2 単位	1・2・3年
最初歩のコミュニケーション能力を目指して		加藤 行男 (かとう ゆきお)	
ねらい	フランス語の基本的な仕組を習得し、日常生活において最低限必要と思われることを各自が発信できるようになることを目指す。そのために、(1)フランス語がきちんと発音できるようになること、(2)日常使うさまざまな表現を覚え、言えるようになること、(3)辞書を使えば平易なフランス語文が訳読できるようになること、を具体的な目標とす		
授業計画	<p>【前期】</p> 第1回 フランス語とはどのような言葉か 第2回 0課: アルファベットと綴り字記号 第3回 0課: フランス語発音の仕組と簡単な挨拶 第4回 1課: 名詞の性と数、定冠詞 第5回 1課: 本文と練習問題 第6回 2課: 疑問文、否定文 第7回 2課: 本文と練習問題 第8回 3課: 不定冠詞、縮約1、形容詞の変化と位置 第9回 3課: 本文と練習問題 第10回 4課: 所有形容詞、提示表現、定冠詞の用法 第11回 4課: 本文と練習問題 第12回 5課: 部分冠詞、否定の表現、主語on 第13回 5課: 本文と練習問題 第14回 前期末試験にむけてのまとめと質疑応答 第15回 試験	<p>【後期】</p> 第1回 前期末試験の返却と解説 第2回 6課: 否定のde、否定疑問文、形容詞の性・数一致 第3回 6課: 本文と練習問題 第4回 7課: 指示形容詞、直接目的の代名詞、縮約2、近接過去 第5回 7課: 本文と練習問題 第6回 8課: 命令形、代名詞enとy、近接未来 第7回 8課: 本文と練習問題 第8回 これまでの学習から: 自己紹介 第9回 これまでの学習から: 親族を表わす言葉、朝食のメニュー 第10回 9課: 単純未来、間接目的の代名詞 第11回 9課: 本文と練習問題 第12回 10課: 代名動詞、疑問形容詞、非人称構文 第13回 10課: 本文と練習問題 第14回 後期末試験にむけてのまとめと質疑応答 第15回 試験	
進め方	初めて学習するフランス語であるから、フランス語の仕組み=文法についての説明を少しずつしていく。さらに目標(1)のために、毎回CDを聞き、テキストの音読練習をする。(2)のためには、ディクテーション形式の小テストを行ない、表現の定着をはかる。(3)のためには、毎回必ず辞書を持参してもらい、できるだけ多くの機会に辞書を引いてもら		
テキスト	中村敦子著『友だちとフランス語を』(白水社)。このテキストにはCDが付いているので、自宅学習に大いに利用すること。	参考文献	辞書は初回の授業時に指示する。
評価方法	前後期定期試験:80% 小テスト:20%		

フランス語Ⅰ（初級）		通年 2 単位	1・2・3年
声を出して学ぶフランス語		杉山 友一（すぎやま ゆういち）	
ねらい	まったく初めてフランス語を学習する人を対象とします。フランス語の基礎知識を習得して、簡単な文を自分で作れるようになりましょう。特に11月のフランス語検定試験で5級若しくは4級の取得を目指す人には、是非受講していただきたいと思えます。		
授業計画	【前期】 第1回 辞書の紹介、文字と発音、挨拶 第2回 もの（人）を紹介する 第3回 もの（人）を紹介する（続）、自己紹介Ⅰ 第4回 自己紹介Ⅰ（続）、Ⅱ 第5回 何があるかを尋ねる 第6回 何があるかを尋ねる（続）、体調を説明する 第7回 体調を説明する（続） 第8回 物の様子を説明する 第9回 物の様子を説明する（続）、注文する 第10回 注文する（続） 第11回 場所を尋ねる 第12回 場所を尋ねる（続）、釣りに行く 第13回 釣りに行く（続）、試験範囲などの説明 第14回 復習と試験前の準備 第15回 試験	【後期】 第1回 試験の返却と解説 第2回 近い過去と近い未来 第3回 近い過去と近い未来（続）、買い物をする 第4回 買い物をする（続） 第5回 ホテルで部屋をとる 第6回 ホテルで部屋をとる（続）、未来の話をする 第7回 未来の話をする（続） 第8回 公園に行く 第9回 公園に行く（続）、美術館に行く 第10回 美術館に行く（続） 第11回 ピクニック 第12回 ピクニック（続）、列車に乗る 第13回 列車に乗る（続）、試験範囲などの説明 第14回 復習と試験前の準備 第15回 試験	
進め方	外国語を読めないまま学習し続けることほどつらいことはありません。この授業では教科書を見ないでネイティブの発音を聴いて、まねをして発音する、あるいはネイティブのスピードで読んでみるなど、読む努力を重視します。特に前期は自分で声を出すことを重視し、後期は作文に重点を置きます。必ず予習をすることが授業の前提です。		
テキスト	森本英夫、小倉博史ほか著『エスポワール』 白水社	参考文献	辞書は必ず用意すること。参考書もなるべく用意して欲しい。いずれも最初の授業で紹介いたします。
評価方法	試験:50% 出席:40% 小試験:10%		

フランス語Ⅱ（中級）		通年 2 単位	2・3年
フランス語Ⅰをふまえてレベルアップする。		鈴木 律子（すずき りつこ）	
ねらい	フランス語一一年次にひき続くフランス語運用能力の向上		
授業計画	【前期】 第1回 過去のことを語るⅠ 第2回 過去のことを語るⅠ（続） 第3回 過去のことを語るⅡ 第4回 過去のことを語るⅡ（続） 第5回 人や物について語る 第6回 人や物について語る（続） 第7回 比較する 第8回 比較する（続） 第9回 受け身の形を使う 第10回 受け身の形を使う（続） 第11回 仮定する 第12回 仮定する（続） 第13回 予備日 第14回 前期分の総合的復習 第15回 試験	【後期】 第1回 感情を表現する 第2回 感情を表現する（続） 第3回 学生と共にテキストを選び読み進む 第4回 学生と共にテキストを選び読み進む 第5回 学生と共にテキストを選び読み進む 第6回 学生と共にテキストを選び読み進む 第7回 学生と共にテキストを選び読み進む 第8回 学生と共にテキストを選び読み進む 第9回 学生と共にテキストを選び読み進む 第10回 学生と共にテキストを選び読み進む 第11回 学生と共にテキストを選び読み進む 第12回 学生と共にテキストを選び読み進む 第13回 学生と共にテキストを選び読み進む 第14回 後期分の総合的復習 第15回 試験	
進め方	一年次と同様、まずテキストを口頭反復練習し、次に文法事項を解説する。テキストの訳、練習問題は学生の参加による。		
テキスト	藤田裕二・藤田知子著『新・東京一パリ、初飛行』駿河台出版社	参考文献	教科書、仏和辞典、ノートは毎時間持参して欲しい。あとは必要に応じて授業中に指示する。
評価方法	定期試験の成績:80% 出席・授業中の発表:20%		

フランス語Ⅱ（中級）		通年 2 単位	2・3年
フランス語の基礎を完成させる		二川 佳巳（ふたがわ よしみ）	
ねらい	一年次にやり残した文法事項を終了させ、仏検や編入試験の仏語にも対応できるように、フランス語の基礎をしっかりと完成させることを目標とする。また、言葉の背景にあるフランスの文化についても理解を深めたい。		
授業計画	【前期】 第1回 インTRODクシヨン 第2回 昨年度の復習 第3回 頼む、命令する 第4回 命令法 第5回 未来のことを語る 第6回 直説法単純未来 第7回 過去のことを語るⅠ 第8回 直説法複合過去 第9回 過去のことを語るⅡ 第10回 直接法半過去・大過去 第11回 人や物について語る 第12回 関係代名詞 第13回 まとめと復習 第14回 同上 第15回 前期試験	【後期】 第1回 比較する 第2回 比較級・最上級 第3回 受け身の形を使う 第4回 受動態、現在分詞 第5回 仮定する 第6回 条件法現在・過去 第7回 感情を表現する 第8回 接続法現在・過去 第9回 直接話法と間接話法 第10回 補助プリント 第11回 同上 第12回 同上 第13回 同上 第14回 まとめと復習 第15回 後期試験	
進め方	文法事項の説明と練習問題、簡単な講読が中心となるが、必要に応じてプリントで練習問題を補う。辞書を使ってどんどん予習ができるはずなので、積極的に授業に参加してもらいたい。		
テキスト	昨年度多くのクラスで使用した『新・東京ーパリ、初飛行』。持っていない人はプリントを配布。	参考文献	初回の授業で指示する。
評価方法	出席:15% 小テスト:15% 定期試験:70%		

フランス語Ⅲ（会話）		通年 2 単位	2・3年
フランス語会話ーフランス語でのコミュニケーションを目指して		鈴木 律子（すずき りつこ）	
ねらい	フランス語会話ー一年次に学習したフランス語を能動的に発話できるようにする。		
授業計画	【前期】 第1回 フランス語の発音練習 第2回 挨拶の表現 第3回 自己紹介 身分、職業の語彙 第4回 願望表現 不定詞 第5回 依頼表現 不定詞 第6回 買物にて 衣類の語彙 第7回 レストランにて 食物の語彙 第8回 ホテルにて 住居の語彙 第9回 過去の表現 近接過去 不定詞 第10回 未来の表現 近接未来 不定詞 第11回 過去の表現 複合過去 第12回 過去の表現 交通手段の語彙 第13回 フランス人講師の授業 第14回 衣食住に関する語彙の補足 第15回 試験	【後期】 第1回 夏休みにしたことを発表する 第2回 未来の表現 近接未来 第3回 未来の表現 単純未来 第4回 日常生活表現とそれに関する語彙 第5回 日常生活表現とそれに関する語彙 第6回 日常生活表現とそれに関する語彙 第7回 日常生活表現とそれに関する語彙 第8回 日常生活表現とそれに関する語彙 第9回 日常生活表現とそれに関する語彙 第10回 日常生活表現とそれに関する語彙 第11回 日常生活表現とそれに関する語彙 第12回 日常生活表現とそれに関する語彙 第13回 フランス人講師の授業 第14回 衣食住に関する語彙の補足 第15回 試験	
進め方	最初は口頭復習練習から入るが、各時間対話をしたい。各人が積極的に参加して欲しい。		
テキスト	使用しないので必ずノート、仏和辞典を持参されたい。	参考文献	
評価方法	定期試験の成績:70% 出席・授業中の発表:30%		

ドイツ語Ⅰ（初級）		通年 2 単位	1・2・3年
ドイツ語の基礎的な技能の習得をめざそう		飯田 道子（いいだ みちこ）	
ねらい	ドイツ語の初級文法を学びます。日常会話を中心とした平易な文章の読解、ヒアリング、作文の総合力をつけることをめざします。また、ビデオなどを使って、ドイツを身近に感じていけるようにします。		
授業計画	【前期】 第1回 導入 第2回 あいさつの表現 第3回 動詞の現在人称変化(1) 第4回 人を誘うときの表現、時刻の尋ね方 第5回 動詞の現在人称変化(2) 第6回 道の尋ね方、答え方 第7回 動詞haben 第8回 冠詞 第9回 買い物 第10回 名詞と冠詞の3格 第11回 週末の予定、天候の表現 第12回 分離動詞 第13回 非人称のes 第14回 話法の助動詞 第15回 期末試験	【後期】 第1回 復習 第2回 過去のできごと「夏休みは何をした？」 第3回 過去分詞、現在完了 第4回 過去基本形 第5回 修理・家事・料理に関する表現 第6回 受動文 第7回 再帰代名詞、比較 第8回 病気に関する表現 第9回 従属の接続詞 第10回 zu不定詞句 第11回 非現実の表現 第12回 接続法 第13回 クリスマスの習慣 第14回 予備日 第15回 期末試験	
進め方	ミュンヘンで暮らす日本人学生を主人公にしたテキストを使って、日常の表現を練習していきます。パートナー練習を多用して、学んだ文法事項を実践できるようにします。映像資料などを盛り込んで、ドイツとドイツ文化に親しめるようにしていきます。		
テキスト	飯田道子・江口直光「アプファールト スキットで学ぶドイツ語」（三修社）	参考文献	年頭に辞書を紹介しますので、毎回持参してください。
評価方法	平常点:50% 筆記試験:50%		

ドイツ語Ⅱ（中級）		通年 2 単位	2・3年
ドイツ語の基礎を復習しながら、さらに上の表現をめざそう！		飯田 道子（いいだ みちこ）	
ねらい	一年次に学習した初級文法を復習しながら基礎固めをし、それを使ってさらに中級レベルの表現をめざします。また、後期には文学作品や映像作品などを取り入れて、総合的な力をつけ、ドイツ文化の理解を深めます。		
授業計画	【前期】 第1回 自己紹介 第2回 自分のことを話す 第3回 過去の表現(1) 第4回 過去の表現(2) 第5回 過去の表現(3) 第6回 受動(1) 第7回 受動(2) 第8回 再帰動詞 第9回 不定句 第10回 副文(1) 第11回 副文(2) 第12回 関係代名詞(1) 第13回 関係代名詞(2) 第14回 夏休みの予定 第15回 予備日	【後期】 第1回 夏休みのことを話す 第2回 完了表現のおさらい 第3回 接続法 第4回 接続法 第5回 映像作品からドイツを知る(1) 第6回 映像作品からドイツを知る(2) 第7回 ドイツ旅行計画を作ろう 第8回 ドイツ旅行計画を作ろう 第9回 グリム童話を読む 第10回 グリム童話を読む 第11回 グリム童話を読む 第12回 クリスマスの習慣 第13回 日本におけるグリム受容 第14回 一年のまとめ 第15回 予備日	
進め方	前期は、文法の復習とさらなる学習にあてます。ミュンヘンで暮らす日本人学生を主人公にしたテキストを使って、日常の表現を練習していきます。パートナー練習を多用します。後期は、文学作品や映像作品に取り組んでいきます。後期の授業については、みなさんと相談の上で決定します。		
テキスト	飯田道子・江口直光「アプファールト」（三修社）	参考文献	辞書を毎回持参してください。
評価方法	平常点:50% レポート:50%		

スペイン語Ⅰ（初級）		通年 2 単位	1・2・3年
スペイン語の基礎を習得して、表現しよう！		廣田 拓（ひろた たく）	
ねらい	①スペイン語の初級文法及び簡単な会話表現を習得する。 ②スペイン語圏の文化・日常生活を理解する。 ③スペイン語で自己表現をする。		
授業計画	【前期】 第1回 ガイダンス、アルファベット、発音 第2回 文字、発音・アクセントの規則 第3回 簡単な挨拶の表現、名詞・形容詞 第4回 冠詞、主語人称代名詞、文の作り方 第5回 動詞serの用法 第6回 動詞estarの用法 第7回 所有形容詞、動詞serとestarの比較 第8回 基数、指示代名詞、指示形容詞 第9回 動詞hay, tener, irの用法 第10回 直説法現在形の規則動詞：A R動詞の用法 第11回 直説法現在形の規則動詞：E R動詞の用法 第12回 直説法現在形の規則動詞：I R動詞の用法 第13回 規則動詞を使った表現 第14回 まとめと復習 第15回 期末試験	【後期】 第1回 復習：ser, estar, hayの用法 第2回 復習：動詞tener, irの用法、規則動詞の表現 第3回 動詞dar, verの用法 第4回 動詞conocer, saberの用法 第5回 動詞poder, quererの用法 第6回 疑問詞の用法と表現、前置詞の用法 第7回 曜日と日付の表現 第8回 間接目的語になる人称代名詞の用法 第9回 直接目的語になる人称代名詞の用法 第10回 動詞gustarの用法と表現、gustar型の動詞の用法 第11回 直説法現在形の不規則動詞の用法（1）、時間の表現 第12回 直説法現在形の不規則動詞の用法（2） 第13回 不規則動詞を使った表現 第14回 まとめと復習 第15回 期末試験	
進め方	基本的にはプリントとテキストを活用して、授業計画に沿って授業を進める。毎回、重要な文法事項を説明し、その後、例文や会話表現を音読し、反復練習を行う。リスニングは、CDやDVD教材を用いる。小テストや宿題で文章を作る練習をする。		
テキスト	「文法から学べるスペイン語」井戸光子・石村あつ、ナツメ社	参考文献	辞書及び参考文献については、ガイダンスの際に説明します。授業では辞書を用意してもらいます。
評価方法	期末試験:50% 小テスト・宿題:30% 出席状況:20%		

スペイン語Ⅱ（中級）		通年 2 単位	2・3年
スペイン語会話にチャレンジ！		フローレス（FLORES, H. A.）	
ねらい	幅広い会話表現を目指す。スペイン語Ⅰで学んだ基礎に基づき、それよりレベルの高い表現方法、コミュニケーションの方法を学習する。習った会話を自分で応用及び変化させながらより実用的な会話ができるように取り組んでいく。また、それまで習ったスペイン語を使って自由に、簡単なスピーチや作文を楽しむ。		
授業計画	【前期】 第1回 基本的な表現や一般的な動詞の用法を思い出す。 第2回 前置詞2②desde, hasta, para（日常会話16） 第3回 点過去、動詞の活用（17） 第4回 点過去、線過去、動詞の活用（17-18） 第5回 線過去、不規則動詞のser, ir, ver（18） 第6回 点過去と線過去、その関係、Speech（19） 第7回 点過去、線過去、現在完了、Speech（19-20） 第8回 現在進行形・現在分詞、Speech（21） 第9回 過去進行形・現在分詞、Speech（21） 第10回 未来形及びその代り表現、Speech（22） 第11回 未来形、再帰動詞、Speech（22-23） 第12回 再帰動詞、再帰人称代名詞、Speech（23） 第13回 再帰人称代名詞（応用）、Speech（23） 第14回 全体的な復習、Speech 第15回 試験	【後期】 第1回 再帰動詞、関係代名詞/副詞Speech（23-24） 第2回 命令形、Speech（25） 第3回 命令形の色々な使い方、Speech（25） 第4回 “se”の用法、Speech（高度な表現1） 第5回 受身の表現、Speech（2） 第6回 比較、Speech（3） 第7回 接続法①、接続法現在、Speech（4） 第8回 接続法現在の一般的な用法、Speech（4） 第9回 接続法②、接続法過去、Speech（5） 第10回 接続法過去の一般的な用法、Speech（5） 第11回 条件法、Speech（6） 第12回 接続法と条件法の関係、Speech（6） 第13回 手紙の書き方、Speech（手紙の書き方1） 第14回 全体的な復習、Speech。 第15回 試験	
進め方	スペイン語Ⅰの教科書を復習しながら授業計画に沿って授業を進めるが、時間やその他の条件によって、臨機応変に対応し学生と教師との対話をはかりつつ、授業を進める。		
テキスト	スペイン語Ⅰで使ったテキストを引き続き使用する。「CDレッスン 驚くほど身につくスペイン語」Luis Cebollada+山崎佳世【共著】（高橋書店）。	参考文献	西和辞典（研究社、小学館、白水社、等）その他必要に応じて、授業中に指示する。
評価方法	定期試験:60% 授業への積極的参加:20% 宿題:20%		

ロシア語Ⅰ（初級）		通年 2 単位	1・2・3年
やさしいロシア語入門 新しい外国語を始めましょう		神長 英輔（かみなが えいすけ）	
ねらい	やさしい表現を初歩的な文法とともに学びながらロシア語の基礎を身につけます。ロシア語はなじみがない言葉に思えるかもしれませんが、意外に読むのは簡単で、親しみやすい言語です。隣国のロシアについての知識やロシア語が求めら		
授業計画	【前期】 第1回 ガイダンス 第2回 文字と発音Ⅰ 第3回 文字と発音Ⅱ 第4回 文字と発音Ⅲ ビデオ鑑賞 第5回 まとめⅠ 第6回 名詞の性・形容詞の性 第7回 名詞の性・形容詞の性 第8回 名詞の複数形・所有代名詞 第9回 名詞の複数形・所有代名詞 ビデオ鑑賞 第10回 人称代名詞・動詞の変化 第11回 人称代名詞・動詞の変化 第12回 名詞の格変化 第13回 名詞の格変化 第14回 数の表現 第15回 試験 ビデオ鑑賞	【後期】 第1回 命令形 第2回 命令形 第3回 まとめⅡ 第4回 移動の表現 第5回 移動の表現 ビデオ鑑賞 第6回 所有の表現 第7回 所有の表現 第8回 未来形 第9回 未来形 第10回 場所の表現 第11回 場所の表現 ビデオ鑑賞 第12回 過去形 第13回 過去形 第14回 まとめⅢ 第15回 試験 ビデオ鑑賞	
進め方	テキストとCD音声を中心に授業を行います。みなさんが楽しく参加できるよう、やさしい表現の練習や音読をとりいれてゆっくり進めます。また美しいロシアの街やアニメーションのビデオを鑑賞し、ロシアについて紹介する時間もとりまします。ロシアについて知るよい機会ですので、ぜひ参加してみてください。		
テキスト	中島由美・黒田龍之助・柳町裕子著『ロシア語へのパスポート』（白水社）	参考文献	
評価方法	出席:50% 平常点:20% 定期試験:30%		

ロシア語Ⅱ（中級）		通年 2 単位	2・3年
やさしいロシア語中級 ロシア語を使ってみましょう		神長 英輔（かみなが えいすけ）	
ねらい	前年に引き続き、ロシア語の文法を勉強します。文法をマスターしたら、知識をおさらいしながら読本を読みます。それとあわせて会話表現を学び、これまで身につけたロシア語の表現力をさらに豊かなものにしていきましょう。またビデオ鑑賞を通して、ロシア語とロシアにたいする理解をいっそう深めたいと思います。		
授業計画	【前期】 第1回 過去形 第2回 過去形 第3回 まとめ ビデオ鑑賞 第4回 名詞の与格と造格 第5回 名詞の与格と造格 第6回 不完了体と完了体 第7回 不完了体と完了体 第8回 不完了体と完了体 ビデオ鑑賞 第9回 動詞の未来形 第10回 動詞の未来形 第11回 動詞の未来形 第12回 移動の表現のまとめ 第13回 移動の表現のまとめ 第14回 移動の表現のまとめ ビデオ鑑賞 第15回 試験	【後期】 第1回 読本 第1課 第2回 読本 第2課 第3回 読本 第3課 第4回 読本 第4課 第5回 ビデオ鑑賞 会話表現 第6回 読本 第5課 第7回 読本 第6課 第8回 読本 第7課 第9回 読本 第8課 第10回 ビデオ鑑賞 会話表現 第11回 読本 第9課 第12回 読本 第10課 第13回 読本 第11課 第14回 読本 第12課 第15回 試験	
進め方	読本のテキストを中心に授業をおこないます。ロシア語の表現力と理解を深めるため、授業は参加者との対話形式でゆっくり進めます。新しい文法も随時学びます。参加者の関心のあるテーマを取り上げ、ビデオ鑑賞やロシア語の文章を通じて、ロシアにたいする理解を深める時間を多く設けます。		
テキスト	中島由美ほか著『ロシア語へのパスポート』（白水社） 諫早勇一ほか著『セメスターのロシア語読本』（白	参考文献	
評価方法	出席:50% 平常点:20% 定期試験:30%		

中国語 I (初級)		通年 2 単位	1・2・3年
中国語ポイント4 2		呉 秀月 (ご しゅうげつ)	
ねらい	中国語を初めて勉強する人に、中国語の声調と発音をしっかり身につけることを目指します。そして中国語の文の基本構造を理解し、中国語の文章を読めることと簡単な会話が交わせることができるよう指導していきます。		
授業計画	<p>【前期】</p> 第1回 中国に関する紹介と中国語の発音の基礎紹介 第2回 中国語の発音：(1) 声調・単母音の習得 第3回 中国語の発音：(2) 複合母音の習得 第4回 中国語の発音：(3) 子音の習得 第5回 中国語の発音：(4) 鼻母音の習得 第6回 第一課：人称代名詞・是の文・名前の言い方 第7回 第一課の復習と第二課：動詞が述語になる文 第8回 第二課：指示代名詞・疑問詞を使う疑問文・“的” 第9回 第二課の復習と第三課：形容詞が述語になる文 第10回 第三課：所有を表す“有”・反復疑問文・副詞“也” 第11回 第三課の復習と第四課：場所を表す代名詞 第12回 第四課：存在を表す“在”・動詞の重ね型・省略疑問文 第13回 第四課の復習と第五課：数詞・量詞 第14回 第五課：“幾”と“多少”・語気助詞 第15回 第一課から第五課の復習	<p>【後期】</p> 第1回 前期教えた発音と文型の復習 第2回 第六課：存在を表す“有”・連動文 第3回 第六課：月日・曜日・時刻と 第七課：助動詞“要”・“想” 第4回 第七課：介詞“在”・“從”・完了を表す“了” 第5回 第七課の復習と第八課：助動詞“能”・“会”・“可以” 第6回 第八課：経験を表す“過”・時間の長さを表し方 第7回 第八課の復習と第九課：介詞・動詞の進行を表す 第8回 第九課の復習と第十課：結果補語 第9回 第十課：動作の状態や程度の表現・“還是” 第10回 第十課の復習と第十一課：方向補語 第11回 第十一課：“把”構文・比較の表現 第12回 第十一課の復習と第十二課：可能補語 第13回 第十二課：二重目的語をとる動詞・“是～的” 第14回 第一課から第五課までの復習 第15回 第六課から第十二課までの復習	
進め方	最初の数回は発音と声調の練習にあてます。その後は会話形式で中国語の文の基本的な構造と文の聞き取りの練習を何回も行います。受講者の授業への積極的参加が望まれます。		
テキスト	本間史・孟広学『中国語ポイント4 2』（白水社、2007年）	参考文献	授業中に紹介します。
評価方法	出席:30% 授業の積極度:20% 期末試験:50%		

中国語 I (初級)		通年 2 単位	1・2・3年
中国語の基礎		佐井 雅美 (さい まさみ)	
ねらい	日常生活に役立つ平易な会話文を通して、中国語の正しい発音を学びます。 また初級段階で必要とする基礎文法事項を学習します。 会話力をつける為、発音練習やヒアリングのトレーニングを行います。		
授業計画	<p>【前期】</p> 第1回 中国語の概要説明 基礎発音練習 1 第2回 基礎発音練習 2 あいさつ言葉 第3回 基礎発音練習 3 ピンインの書き取り練習 第4回 小テスト 1 (リスニング) 教室用語 第5回 第1課 単語の発音練習、文法の説明、会話文の学習 第6回 第1課 (総合練習) 自己紹介 第7回 第2課 単語の発音練習、文法の説明、会話文の学習 第8回 小テスト 2 (リスニング) 第3課 単語の発音練習 第9回 第3課 文法の説明、会話文の学習、応用練習 第10回 第4課 単語の発音練習、文法の説明、会話文の学習 第11回 第3課の復習、第4課 応用練習 第12回 小テスト 3 (リスニング) 第5課 単語の発音練習 第13回 第5課 文法の説明、会話文の学習、応用練習 第14回 第6課 単語の発音練習、文法の説明、会話文の学習 第15回 前期期末試験	<p>【後期】</p> 第1回 前期授業内容の復習 第2回 第7課 単語の発音練習、文法の説明、会話文の学習 第3回 第7課 応用練習、ヒアリング 第8課 単語の発音練習 第4回 第8課 文法の説明、会話文の学習、応用練習 第5回 小テスト 4 (リスニング) 第9課 単語の発音練習 第6回 第9課 文法の説明、会話文の学習、応用練習 第7回 第10課 単語の発音練習、文法の説明、会話文の学習 第8回 第9課の復習、第10課 応用練習、慣用語句の構文 第9回 小テスト 5 (リスニング) 第11課 単語の発音練習 第10回 第11課 文法の説明、会話文の学習、応用練習 第11回 第12課 単語の発音練習、文法の説明、会話文の学習 第12回 第11課の復習、第12課 応用練習、慣用語句の構文 小テスト 6 (スピーチ) 自己紹介 第14回 後期のまとめ 第15回 後期期末試験	
進め方	先ず中国語の発音を正確に聞き取れるように、繰り返しリスニングと発音練習を行います。 前期は日常会話のリスニングと文法の説明が中心となります。 後期は慣用語句の構文を取り入れて、文章力もつけます。		
テキスト	楊凱栄・張麗群『新・中国語への船出』朝日出版 社	参考文献	授業時随時紹介します。
評価方法	出席:20% 小テスト (リスニング):30% 期末試験:50%		

中国語Ⅱ（中級）		通年 2 単位	2・3年
ステップアップ中国語		孔 令敬（こう れいけい）	
ねらい	中国語を一年間学習した人を対象にする講座である。既習の単語や文法の知識を踏まえ、豊かな表現を勉強する。語学はくりかえし練習したり、暗記したりするのが有効な学習法である。積極的な授業参加をしてもらいたい。		
授業計画	【前期】 第1回 一年次に学習した内容の復習 第2回 第一課 前置詞・補語・伝聞句の使い方など 第3回 練習 第4回 第二課 助動詞・慣用句の使い方など 第5回 練習 第6回 第三課 助動詞2・動量詞の使い方など 第7回 練習 第8回 第四課 結果補語・方位詞の使い方など 第9回 練習 第10回 第五課 様態補語・二つの「了」の働きと使い分け 第11回 練習 第12回 第六課 比較表現と伝聞表現など 第13回 練習 第14回 第七課 総合練習と復習 第15回 練習	【後期】 第1回 前期に学習した内容の復習 第2回 第八課 将然形の表現と慣用句の使い方など 第3回 練習 第4回 第九課 複文と慣用句 完了説明文など 第5回 練習 第6回 第十課 理由や条件を表す表現など 第7回 練習 第8回 第十一課 助動詞と慣用句の使い方など 第9回 練習 第10回 第十二課 複文と慣用句など 第11回 練習 第12回 第十二課 複文表現など 第13回 練習 第14回 総合復習 第15回 テスト	
進め方	教科書に沿って進める。学習効果をたかめるため、プリントを配布する時もある。		
テキスト	白帝社・『表現する中国語Ⅱ』・楊凱栄ほか	参考文献	中国語の語彙がもつ本来の意義は多岐に亙るものなので、みずから進んで辞書にあたって調べる習慣をつけてほしい。市販のものなら、何でもいい。
評価方法	平常点（出席点）と受講姿勢:50% 前後期2回の試験:50%		

韓国語Ⅰ（初級）		通年 2 単位	1・2・3年
韓国語の発音・日常会話と文化、書いて覚える韓国語		金 元恵（きむ うおんへ）	
ねらい	言葉はコミュニケーション及びその国の文化理解のために大切な手段です。いちばん近い外国である韓国の言葉を楽しめるように聞き、歌うように話しながら身につけて新しい世界を発見することを目指す。		
授業計画	【前期】 第1回 ハングルの由来と文化 第2回 文字について、母音について、単語の発音と書く練習 第3回 文字について、子音について、単語の発音と書く練習 第4回 文字について、濃音について、単語の発音と書く練習 第5回 文字について、終声（パッチム）の練習 第6回 日常生活の基本的な単語の意味と発音練習（TESTのため） 第7回 自己紹介の文をつくる 発音の練習（発表のため） 第8回 基本的な文法を習得(1) 単文づくりを学ぶ 第9回 基本的な文法を習得(2) 単文づくりを学ぶ 第10回 単語TEST、自己紹介の練習 第11回 日韓合作ドラマ「friend」感想 第12回 " 第13回 ビデオに出て来る韓国の文化を学ぶ 第14回 自己紹介の発表TEST 第15回 自己紹介の発表と日・韓合作ドラマの感想文の提出	【後期】 第1回 発音の復習 第2回 基本的な文法を習得(3) 単文づくりを学ぶ 第3回 基本的な文法を習得(4) 単文づくりを学ぶ 第4回 テキストに従ってpointとなる日常会話を学ぶ(1) 第5回 " (2) 第6回 " (3) 第7回 " (4) 第8回 日常生活の基本的な形容詞の意味と発音（TESTのため） 第9回 形容詞の発音と単文づくりを学ぶ 第10回 日韓合作ドラマ「ソナギ」感想 第11回 " ドラマに出る韓国文化を学ぶ 第12回 動詞の語幹にどんな語尾がつかがるか(1)（手紙を書くため） 第13回 " (2)（ " ） 第14回 形容詞のTEST 手紙の書き方 第15回 韓国のお正月の話、かえるの物語、お料理の紹介	
進め方	テキストが中心となります。毎回練習問題を宿題として出します。同時にテキストの以外の物も多く学びます。充分練習した自己紹介を発表することによって自信を持てます。「Friends」ビデオは感想文を書きます。（日本語で）最終的には多くの単語を使ってまた語尾の変化に従って自由テーマに手紙を書くことを目指します。		
テキスト	「韓国語の初歩」白水社 著者：厳基珠 金三順 金天鶴 甲鉉竣 吉川知文	参考文献	特に定めず授業時に紹介する。
評価方法	試験:50% 出席:25% 宿題:25%		

韓国語Ⅱ（中級）		通年 2 単位	2・3年
中級韓国語		北原 スマ子（きたはら すまこ）	
ねらい	韓国語の中級レベルの「読む・書く・話す・聞く」力をバランスよく身につけることを目的とします。日常よく使う文法・文型・語彙などを学び、より多様で豊かな表現ができるようにします。学んだことを応用して、簡単な会話ができることをめざします。言葉の背景にある韓国の文化や社会に対する理解を深めます。		
授業計画	<p>【前期】</p> 第1回 ガイダンス、日常会話の復習 第2回 第1課～第4課 文字、発音、文法の復習 第3回 第5課 田中です。 第4回 第5課 名詞文 第5回 第6課 私のカバンではありません。 第6回 第6課 名詞文の否定と尊敬 第7回 第7課 どこにありますか。 第8回 第7課 用言文 第9回 第8課 1万3千ウォンです。 第10回 第8課 数詞・疑問詞 第11回 第9課 どこに行かれますか。 第12回 第9課 尊敬形 第13回 第5課～第9課の総まとめ 第14回 韓国の文化に触れるⅠ 第15回 期末試験	<p>【後期】</p> 第1回 前期の復習、会話練習 第2回 第10課 もう少し教えてください。 第3回 第10課 連用形 第4回 第10課 ヘヨ体 第5回 第11課 ちょっとお待ち下さい。 第6回 第11課 ヘヨ体の尊敬形 第7回 第11課 婉曲表現 第8回 第12課 日曜日には何をなさいましたか。 第9回 第12課 過去形 第10回 第12課 原因・理由表現 第11回 第13課 日本語を専攻しています。 第12回 第13課 進行形・連体形 第13回 第10課～第13課の総まとめ 第14回 韓国の文化に触れるⅡ 第15回 期末試験	
進め方	テキストを使って単語・発音・文法・文型などを学び、練習問題を通して、理解の定着を図ります。本文を暗記してロールプレイングを行います。韓国の文化や社会を理解するために映像や、出版物を活用します。		
テキスト	生越直樹、チョ・ヒチョル著『ことばの架け橋』（白帝社）	参考文献	小学館・金星出版社共同編集『朝鮮語辞典』（小学館）
評価方法	出席:30% 宿題・小テスト:20% 定期試験:50%		